

【1】2022 東京外国語大学

次の[A]～[F]は、第一次世界大戦後の国際秩序をめぐる、1918 年以降に書かれたものの抜粋である。これらの史料を読み、以下の問に答えなさい。

[A] ウィルソン大統領のアメリカ合衆国議会宛教書(14 カ条)(1918 年 1 月 8 日)

われわれが、この戦争の結末として要求することは、われわれに特殊なことではまったくありません。それは、世界が健全で安全に生活できる場となることであり、とりわけ、すべての平和愛好国家にとって安全となることです。〔中略〕世界中のあらゆる人々は、実質的に〔中略〕利害を共にする盟友であり、われわれは他の人々に正義が行われない限り、われわれにも正義はなされないということを明確に認識しています。世界平和の実現のための計画は、したがって、われわれの計画でもあります。そして、われわれの考える唯一可能な計画とは、以下のようなものです。〔中略〕

第 5 条 すべての①植民地に関する要求は、自由かつ偏見なしに、そして厳格な公正さをもって調整されねばならない。主権をめぐるあらゆる問題を決定する際には、対象となる人民の利害が、主権の決定をうけることになる政府の公正な要求と平等の重みをもつという原則を厳格に守らねばならない。〔中略〕

第 14 条 大国と小国とを問わず、政治的独立と領土的保全とを相互に保障することを目的とした明確な規約のもとに、国家の一般的な連合が樹立されねばならない。

〔出典：「パリ不戦条約（1928 年 8 月 27 日）」『世界史史料 10』歴史学研究会。なお、一部の表現を改めた。〕

[B] ②ホー＝チ＝ミン「反革命的な軍隊」（1923 年 9 月 7 日付、フランス労働総同盟の機関紙『ラ・ヴィ・ウーヴリエール』（パリ）に掲載）

植民地紛争が 1914－18 年の帝国主義戦争の重要な一因だったことを、われわれは知っている。〔中略〕

フランスの労働者階級の認識せねばならぬことは、植民地主義が労働者階級の側の解放のあらゆる試みを打ち敗るため、植民地に依存しているという事実である。多かれ少なかれ階級意識に感染した白人の兵にはもう絶対的信頼がおけないので、③フランスの軍国主義はその代わりにアフリカやアジアの原住民を使っている。フランス陸軍の 159 連隊のうち、10 は植民地の白人、すなわち半原住民、30 はアフリカ人、39 は他の植民地出身の原住民から成っており、こうしてフランス陸軍の半分は植民地から徴募されているのである。

〔出典：ベルナール・B・ファル編、内山敏訳『ホー・チミン語録－民族解放のために－』河出書房新社、1968 年。〕

[C] 国際連盟規約(1919 年 6 月 28 日調印)

締約国は、戦争に訴えないという義務を受諾し、各国間の開かれた公明正大な関係を定め、各国政府間の行為を律する現実の規準として④国際法の原則を確立し、組織された人々との相互の交渉において正義を保つとともにいっさいの条約上の義務を尊重することにより、国際協力を促進し各国間の平和と安全を達成することを目的として、この国際連盟規約に合意する。〔中略〕

第 11 条 戦争または戦争の脅威は、連盟加盟国のいずれかに直接の影響がおよぶか否かを問わず、すべて連盟全体の利害関係事項であることをここに声明する。連盟は、国際的平和を擁護するために適当かつ有効と認められる措置をとる。〔中略〕

第 16 条 第 12 条、第 13 条または第 15 条における約束を無視して戦争に訴えた連盟加盟国は、当然他のすべての連盟加盟国に対して戦争行為を行ったものとみなされる。他のすべての連盟加盟国は、⑤その国とのいっさいの通商上または金融上の関係の断絶〔中略〕を、ただちに行う。

〔出典：「国際連盟規約（1919 年 6 月 28 日調印）」『世界史史料 10』歴史学研究会〕

[D] 中華民国全権代表団がヴェルサイユ講和条約調印拒否を本国に報告する電文(1919 年 6 月 28 日)

ヴェルサイユ講和条約の調印について。〔中略〕⑥山東問題の件で、我が国はつぎつぎに譲歩しました。最初は条約の本文に「山東権益の返還を」明記することを主張しましたが認められず、ついで条約のうしろに付記することを主張しましたが認められず、条約外に改めても認められず、わずかに声明するだけで文字にとどめるにはおよばないと主張しましたが、それでも認められませんでした。〔中略〕この件は、我が国の領土の完全および前途の安定ときわめて大きく関わっております。〔中略〕弱小国の交渉は、最初は争っても最後は譲歩するしかないというのが、ほとんど慣例となっております。今回、もしさらにこらえて調印すれば、我が国の前途はさらにいうべきものがなくなってしまうでしょう。〔中略〕詳しく検討しましたが、やむを得ず、当日は調印に行くのをやめました。

〔出典：「中華人民全権代表団がヴェルサイユ講和条約調印拒否を本国に報告する電文(1919 年 6 月 28 日)」『世界史史料 10』歴史学研究会。なお、一部の表現を改めた。〕

[E] ヤップ島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ関スル日米条約(1922 年 7 月 14 日)

日本国およびアメリカ合衆国は〔中略〕、ドイツ国がヴェルサイユ条約にいう主たる同盟および連合国たる諸国〔中略〕のために、その海外属地に関する一切の権利および権原を放棄したることを思い、〔中略〕

④4 つの国〔中略〕は、ヴェルサイユ条約により太平洋中赤道以北に位する旧ドイツ領諸島群につき、以下の条項に準拠してその施政を行う〔こと〕の委任を日本国皇帝陛下に付与することに一致したることを思い、

第 1 条 日本国皇帝陛下(以下受任国と称す)に委任を付与したる諸島は、太平洋中赤道以北に位する旧ドイツ領諸島の全部を含む。

第 2 条 受任国は本委任統治条項による地域に対し、日本帝国の構成部分として施政および立法の全権を有すべく、かつ情況に応じ必要なる地方的変更を加えて、本地域に日本帝国の法規を適用することを得。

受任国は、本委任統治条項による地域の住民の物質的および精神的幸福ならびに社会的進歩を極力増進すべし。

〔出典：アジア歴史資料センターHP。なお、条文を現代仮名遣いに変更したほか、一部の表現を改めた。〕

[F] ⑧パリ不戦条約(1928 年 8 月 27 日)

第 1 条 締約国は、国際紛争解決のために戦争に訴えることを非難し、かつ、その相互の関係において国家政策の手段として戦争を放棄することを、その各々の人民の名において厳粛に宣言する。

第 2 条 締約国は、相互間に発生する紛争または衝突の処理または解決を、その性質または原因の如何を問わず、平和的手段以外で求めないことを約束する。

〔出典：「ウィルソン大統領の議会宛教書（1918 年 1 月 8 日）」『世界史史料 10』歴史学研究会〕

問 1 下線部①に関連して、イギリスは、戦争遂行にインドの協力が必要不可欠であるとの認識のもと、第一次世界大戦中、インドに戦後の自治を約束した。それを受けて制定された 1919 年インド統治法は、実際には部分的な自治を定めるにとどまった。さらにイギリスは、反英運動を弾圧する法律をこの年に制定した。この法律の通称を答えなさい。

問 2 下線部②の人物に先立ち、ベトナムの独立を目指す運動を展開し、維新会を結成してドンズー(東遊)運

動を提唱した人物の名を答えなさい。

問 3 下線部③に関連して、19 世紀末フランスで、反ドイツ感情や排外的愛国主義の高まりを受けて元陸軍大臣が政権奪取をもくろみ、未遂に終わった。この出来事が何とよばれるかを答えなさい。

問 4 下線部④に関連して、『戦争と平和の法』(1625 年)などの著作により国際法の発展に貢献した人物の名を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して、この規定にもとづく制裁が唯一発動されたのは、1935 年に軍事侵攻を行ったイタリアに対してであった。しかしムッソリーニ政権による侵略行動が止まることはなく、その実効性の低さが露呈する結果となった。このときイタリアが侵攻した独立国の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥に関連して、山東権益の返還などを求める中華民国の訴えが退けられたことに抗議して、北京から全国に拡大した運動の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦の 4 つの国は、国際連盟の当初の常任理事国である。この 4 つの国名を、すべて答えなさい。

問 8 下線部⑧の条約を、フランス外相の提案にこたえるかたちで提唱したアメリカの国務長官の名を答えなさい。

問 9 ウィルソンが史料[A]で提示した、第一次世界大戦後の国際秩序には、どのような可能性と限界があったか。史料[A]～[F]と、その後の歴史的経過をふまえて、400 字以内で説明しなさい。また、以下の語句を必ず用い、使用した箇所すべてに下線を引きなさい。

植民地の戦争協力

二十一カ条の要求

パリ講和会議

経済制裁

戦争の違法化

ドイツ領南洋諸島

問 1 ローラット法

問 2 ファン＝ボイ＝チャウ

問 3 ブーランジェ事件

問 4 グロティウス

問 5 エチオピア

問 6 五・四運動

問 7 イギリス、フランス、イタリア、日本

問 8 ケロッグ

問 9 ウィルソンは 14 カ条において平和的な国際秩序を訴え、植民地問題の公正な解決、国際平和機構の設立などを唱えた。植民地が大きな問題となったのは、ホー＝チ＝ミンが指摘するように、第一次世界大戦では兵士や労働力の動員という面で植民地の戦争協力が不可欠だったからである。民族自決の潮流をうけて、中国でも二十一カ条の要求の取り消しや、山東のドイツ利権の返還を求める動きが広がったが、パリ講和会議では受け入れられなかった。この会議では、赤道以北のドイツ領南洋諸島の委任統治権を、日本が得ることになった。一方、1919 年には国際連盟が設置され、締約国は戦争に訴えないという義務を受諾した。戦争の違法化というこの流れは、パリ不戦条約の「国家政策の手段として戦争を放棄する」という規程に結実する。だが、侵略国家に対する制裁手段は経済制裁に限られていて軍事制裁が行えなかったほか、アメリカは国際連盟に参加しなかった。

《出典》ウィルソン大統領の議会宛教書『世界史史料 10』／内山敏訳「ホー＝チ＝ミン「反革命的な軍隊」／国際連盟規約『世界史史料 10』／中華人民全権代表団がヴェルサイユ講和条約調印拒否を本国に報告する電文『世界史史料 10』／ヤップ島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ関スル日米条約／<https://www.digital.archives.go.jp/>／パリ不戦条約『世界史史料 10』

【2】2022 東京外国語大学

われわれの生きる 21 世紀の世界は、一体化と相互依存をますます深めつつある。これまで人類は無尽蔵と思われた天然資源に大きく依存し発展してきたが、その行き過ぎた収奪と乱用による環境破壊の現実をまえに、人類の発展のあり方そのものを根本から問い直さざるを得ない状況へと追いやられている。ここ半世紀間に顕在化してきた地球規模のさまざまな環境問題は深刻さを増しており、諸国・諸地域の協同によるこれまで以上の対処を必要としている。

グローバル・ヒストリーの観点から地球環境問題の歴史を概述する次の文章を読み、以下の問に答えなさい。

一体化が進行する現代世界における我々の日常生活は、科学技術の発展により消費物資や情報サービスの面で格段に豊かになった。この豊かな消費生活は、発展途上国からの膨大な天然資源の輸入にささえられているが、他方で世界各地の環境破壊をひきおこしている。

たとえば、日本の年間丸太輸入量 3000 万立方メートルのうち、約 3 分の 1 は南洋材で、丸太切り出しだけで、年に 7500 平方キロメートル、大阪府の面積の 4 倍もの熱帯雨林を伐採・破壊していることになる。また、世界のえび取引の 40 パーセント、1 日 10 億円におよぶえびの輸入は、東南アジア諸国でマングローブ林を犠牲にした過剰養殖をまねいている。安価に輸入されているバナナは、フィリピンや中米諸国での①モノカルチャー的な農業構造と農民を犠牲にした大農場経営のもとで生産されており、農薬による土壌汚染もおこっている。

ところで、こうした②大量生産・大量消費型の産業社会の展開は、産業革命以降の先進諸国による資源の独占的支配と技術開発にささえられてきた。しかし 1970 年代になると、一次産品を生産・輸出する発展途上国のあいだで、自国の資源を国有化して経済開発に積極的に活用しようとする資源ナショナリズムが台頭してきた。③1973 年の第 4 次中東戦争の際に、アラブ石油輸出国機構(OAPEC)諸国が発動した石油戦略がその典型であり、先進諸国の高度経済成長政策は大きくゆさぶられた(石油危機)。

こうした途上国の経済的自立の動きにより、先進工業国は 1980 年代に省資源や省エネルギーに努力し、新素材や石油代替エネルギーの開発に取り組んだ。特に原子力エネルギーに対する期待は高いが、④1986 年 4 月のソ連・チェルノブイリ原子力発電所での大事故と、2011 年 3 月の東日本大震災による東電福島第一原発のメルトダウンは、原子力発電の安全性、環境保全、放射性廃棄物の処理問題について再検討を迫っている。福島原発事故は、現在でも、完全な収束の見込みはたっており、太陽光発電や風力発電など代替エネルギーの確保も含めて、長期の粘り強い取り組みが求められている。

20 世紀の第 4 四半世紀は、工業化をすすめる先進国が、化石燃料やエネルギーを大量に消費して国境・地域をこえて汚染物質をもたらし、地球の自然環境を破壊してきた。石油の大量消費によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスは、地球の温暖化をひきおこす主要な原因と考えられており、その排出量の削減が急務である。⑤温暖化により南極や北極の氷河が融けて海水面が上昇するとともに、エルニーニョ現象(東太平洋における海水温の上昇にともなう気候変動)の頻発は、とりわけ発展途上国における食糧生産に打撃を与えている。

北米や北ヨーロッパでは、大気汚染が原因の酸性雨によって森林や湖沼が被害を受けている。東アジアでも、経済発展をつづける中国の大気汚染は深刻で、日本で降る酸性雨にも影響しているとみられている。また、冷

房設備などに使用されるフロンガスはオゾン層を破壊し、地上に達する有害な紫外線の増加によって、生態系や健康への影響が心配されている。

現在、我々は環境を地球的規模で保全する必要に迫られている。1972年に「かけがえのない地球」をスローガンに国連人間環境会議が開催されて以来、国連を中心に様々な取り組みがなされ、⑥1992年には A の B で、国連環境開発会議(地球サミット)が開催された。そこでは、経済成長を優先したい発展途上国と環境問題重視の先進国とのあいだで意見の対立があった。10年後の2002年には南アフリカのヨハネスブルクで、持続可能な開発に関する世界首脳会議(環境・開発サミット)が開かれた。

⑦1997年に開かれた地球温暖化防止会議では、先進国に温室効果ガスの排出量削減を求める C が採択された。C は、国内経済への制約をおそれるアメリカが2001年に離脱したが、日本・EU・ロシアなどの批准により2005年に発効した。21世紀は、地球環境の保全と持続的な経済開発(持続可能な開発 sustainable development)のバランスをとりながら、貧富の格差を解消していくことが重要な課題になっている。2015年9月の国連サミットでは、「持続可能な開発目標」(SDGs)が採択された。「貧困や飢餓の根絶」「再生可能エネルギーの利用」「気候変動への対策」など17の目標が設定され、「だれひとり取り残さない」をスローガンに2030年までの目標達成をめざした様々な取り組みが展開されている。

[出典：秋田茂編『グローバル化の世界史』ミネルヴァ書房、2019年。なお、一部の表現を改めた。]

問1 下線部①に関連して、17世紀から18世紀の大西洋を舞台とする三角貿易では、アメリカ大陸やカリブ海域の植民地において特定の農産物がプランテーションで生産されるようになった。産業革命の進展にしたがって、これらの農産物の需要が高まると、生産地域のモノカルチャー化が進んだ。こうした農産物のうち、その加工が技術革新を促し、産業革命の開始と進展のきっかけとなった一次産品の名を答えなさい。

問2 下線部②に関連して、1903年に設立されたアメリカの自動車会社が組み立てライン方式の導入により実現した工場のシステム化は、大量生産・大量消費時代の呼び水となった。生産の効率化が販売価格を低減する一方、部分的には高賃金に還元されて消費者の購買力を高めたからである。自動車を大衆化させたこの会社の名を答えなさい。

問3 下線部③について、この石油戦略とはどのようなものだったのか、40字以内で説明しなさい。

問4 下線部④に関連して、原発事故後の当局による被害状況の隠蔽は世論の大きな反発を招き、これはゴルバチョフ指導下で情報公開が進展するきっかけとなった。ソ連末期に言論の自由化をうながしたこの情報公開政策の名をカタカナで答えなさい。

問5 下線部⑤に関連して、近年の温暖化による海氷の融解現象は、北極圏における資源や航路をめぐる国家間の競争に拍車をかけている。今から1世紀余り前には、国家の威信をかけた極地探検がちょうどピークを迎えていた。1909年アメリカの探検家が北極点に最初に到達すると、これに遅れをとったノルウェーの探検家は目標を切り替え、1911年に南極点への初到達に成功した。このノルウェーの探検家の名を答えなさい。

問6 下線部⑥に関連して、この会議では温室効果ガスの排出量削減に関する気候変動枠組み条約が採択されるとともに、開発と環境保全の両立を目指す理念が宣言で示され、その後の環境問題への取り組みに一つの道筋がつけられた。空欄 A にあてはまる国の名と空欄 B にあてはまる都市の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦について、この会議で採択された空欄 **C** にあてはまる文書の名を答えなさい。

問 1 綿花 問 2 フォード(社)

問 3 親イスラエルの立場の西側諸国に対して原油輸出の停止や制限の措置を発動するもの。

問 4 グラスノスチ 問 5 アムンゼ[セ]ン

問 6 A ブラジル B リオデジャネイロ

問 7 京都議定書

《出典》秋田茂「地球社会の行方と課題」秋田茂編『グローバル化の世界史』, pp. 379-381, 一部省略・改変 ミネルヴァ書房(2019)

【3】2021 東京外国語大学

歴史上、軍備の増強は国家と社会のあり方に大きな影響を与え、その時代を形作る重要な要素となってきた。冷戦体制下の世界においては、核兵器の開発競争が過熱し、それを国際的に管理する体制の構築が図られた。同時に、それは人々の日常生活への脅威となり、20 世紀後半の世界に、国際的な平和運動が巻き起こった。

以下の[A]～[C]は、このような時期の核兵器開発をめぐる、ニュージーランド、ソヴィエト連邦、アメリカ合衆国で書かれたものの抜粋である。これらの史料を読み、以下の問に答えなさい。

[A] ニュージーランド元首相デービッド・ロンギの回想

(著作権処理の都合により省略)

《出典》デービッド・ロンギ著、国際非核問題研究会訳『非核ニュージーランドの選択』 平和文化、1992 年

[B] ソヴィエト連邦の理論物理学者アンドレイ・サハロフの回想

(著作権処理の都合により省略)

《出典》アンドレイ・D・サハロフ著、原卓也訳『サハロフは発言する』 新潮社、1975 年

[C] アメリカ合衆国大統領からソヴィエト連邦指導部への書簡(1962 年 10 月 22 日)

(著作権処理の都合により省略)

《出典》歴史学研究会編『世界史史料⑩20 世紀の世界Ⅱ』 岩波書店、2012 年

問 1 下線部①「米国はこの核兵器をロケットで打ち上げ、太平洋のジョンストン島の 200 マイル上空で爆発させたのである」に関連して、アメリカはジョンストン島以外にも太平洋の島々で核実験を繰り返した。その中でも、第二次世界大戦後に信託統治領とした南太平洋の環礁地帯で行われた水爆実験では、日本の漁船も放射能汚染の被害を受けた。この水爆実験が行われた環礁の名を答えなさい。

問 2 下線部②「オタフフに核のオーロラが現われたその年に、フランスは大気圏核実験計画をサハラ砂漠から仏領である南太平洋の島に移すと発表したのである」に関連して、以下の文章を読み、(A)に入る国の名と(B)に入る人物の名を答えなさい。

フランスは当初、サハラ砂漠で大気圏核実験を行っていた。だが、7 年に及ぶ独立戦争の末、(A)が建

国されると、フランスは南太平洋の島々に実験場を移し、計 210 回に及ぶ実験を実施した。その背景には、フランス大統領(B)が独自外交を展開し、軍事面においても核兵器開発で先行するアメリカ、ソ連、イギリスに対抗しようとしたことがある。(B)は(A)独立戦争の危機を収束させ、政治指導者として強い権威を確立した。

問 3 下線部③「第 20 回党大会」に関連して、1956 年のソ連共産党第 20 回大会では、その 3 年前に死去した党書記長が反対派の大量処刑や個人崇拜を批判された。これをきっかけに、ソ連社会には解放感が生まれ、外交上は東西対話の国際協調路線が生じた。批判されたこの党書記長の名を答えなさい。

問 4 下線部④「いわゆるモスクワ協定が結ばれ、このアイデアが現実化された」に関連して、1963 年にアメリカ、ソ連、イギリスがモスクワで核実験をめぐる条約に調印したが、フランスと中華人民共和国は、これら三国による核の寡占だと反発して参加しなかった。この条約の名を答えなさい。

問 5 下線部⑤について、この書簡の筆者である「私」の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥「キューバでは、長距離ミサイル基地を含む攻撃的兵器システムの配備が急速に進められています」のような事態は、親米政権の転覆に始まる体制変革の結果、導かれたものである。このとき、キューバの首相としてアメリカと対峙した人物の名を答えなさい。

問 7 第二次世界大戦中に初めて使われた核兵器は、冷戦の激化に伴ってその重要性を増し、アメリカとソ連の間で開発競争が展開された。その際、核実験は大国の「辺境」とされた諸地域で行われ、その地域の生活環境の破壊も問題となった。また、科学者や一般市民は、核開発を平和への脅威として強く批判した。やがて 1960 年代には、米ソの内政・外交上の要因によって核開発は国際社会の管理下に置かれるようになったが、各国は常に協調したわけではなかった。以上のような、第二次世界大戦中から 1960 年代半ばまでの核軍備の増強、反発、均衡の歴史を、500 字以内で具体的に説明しなさい。その際、史料[A]～[C]と問 1～6 の設問文をふまえること。また、以下の語句を必ず用い、使用した箇所全てに下線を引きなさい。

原子爆弾	北大西洋条約機構	放射能汚染
原水爆禁止運動	フルシチョフ	中華人民共和国

問 1 ビキニ環礁

問 2 A アルジェリア B ド＝ゴール

問 3 スターリン

問 4 部分的核実験禁止条約

問 5 ケネディ

問 6 カストロ

問 7 第二次世界大戦中、原子爆弾が広島、長崎に投下されて核兵器の威力が知らしめられた。終戦時にはアメリカが唯一の保有国だったが、1949 年にソ連も保有し、両国による核兵器開発競争が始まった。アメリカを含めた西側 12 か国は北大西洋条約機構、ソ連と東欧 6 か国はワルシャワ条約機構を発足させて軍事的に対立し、核の傘を形成することとなった。だが、開発競争の中で南太平洋地域、北極圏、ネヴァダ州などで実施された核実験は、深刻な放射能汚染を発生させた。1954 年にはビキニ環礁の水爆実験によって被災事件が起き、原水爆禁止運動が世界に広がった。こうした中、1962 年にソ連がキューバにミサイル基地を建設すると、アメリカがその撤去を求めてキューバ危機が発生し、核戦争の危機が高まった。しかしスターリン批判後、西側との協調路線へと外交政策を転換した

フルシチョフ第一書記が譲歩したことによって危機は回避された。翌 1963 年にはアメリカ、英国、ソ連が部分的核実験禁止条約を結んで、核軍備が国際的に管理されるようになった。ただし、中華人民共和国やフランスのように独自外交を展開する国々もあり、核管理は確固とした体制ではなかった。

《出典》 [A] デーヴィッド・ロンギ(国際非核問題研究会訳)「非核ニュージーランドの選択」 pp. 25-29, 一部改変 平和文化(1992)／[B] アンドレイ・D・サハロフ(原卓也訳)「サハロフは発言する」 pp. 8-11, 一部改変 新潮社(1975)／[C] 「世界史史料 11 20 世紀の世界Ⅱ(第二次世界大戦後冷戦と開発)」歴史学研究会編『世界史史料 11』, pp. 115-116, 一部改変 岩波書店(2012)

【4】2021 東京外国語大学

以下の文章は、世界の歴史をグローバルな連関のなかで考え、叙述しようと試みる、ある現代ドイツの歴史家が世界史における時代区分について論じたものである。この文章を読み、以下の問に答えなさい。

19 世紀とはいつか。「世紀」は自明のように語られる。19 世紀とは 1801 年から 1900 年までの時間以外の何ものでもない。この時間には、何ら意味のある経験が対応しているわけではない。19 世紀の暦上の始まりと終わりには歴史上の区切りになるようなことは何も起こっていない。何も考えずに、どの地域や文化に対しても中立的に舞台を設定すれば、公平かもしれない。世界中のあらゆる変化を捉え、かつ何が時代の画期になるのか、というやっかいな議論を避けることもできるだろう。固定されたビデオ・カメラのフレームだけが、様々な歴史の流れを捉え、何かを特別扱いすることもない。特定の年、たとえば 1688 年とか、1800 年とかに、世界の様々な場所で起こったことについて書いている書物もある。

しかし、そのように形式的に問題を解決してみても、それでよいわけではない。歴史家の中には、時代区分は「歴史叙述が過去に与える形式の核心」だと考える者もいる。「長い」19 世紀とか、「短い」19 世紀について議論が続いている。多くの歴史家は時代区分として、1789 年のフランス革命に始まり 1914 年の第一次世界大戦までの「長い 19 世紀」という考え方を受け入れているが、暦上の一世紀に満たない「短い 19 世紀」の方がよい、という歴史家もいる。国際政治を基準にした考え方で、1814/15 年のウィーン会議におけるヨーロッパ秩序の再編から、①米西戦争でアメリカ合衆国が国際政治に登場した 1898 年までを指している。意味や内容を根拠に時代区分をすれば、常に歴史解釈の強調点が明らかになる。したがって、一世紀をどのような長さで、どのような形で捉えるか、という問題は些細な問題ではない。歴史を記述する場合には、いずれにせよその問いに答えなければならない。

それでは 19 世紀を歴史の流れの中に、どのように位置づけるべきなのだろうか。「長い 19 世紀」の始まりはおおよそ 1770 年代である。もし象徴的な、「世界史的」大事件によってこれを画そうとするなら、アメリカ合衆国の建国を導いたアメリカ革命を挙げることができる。「長い 19 世紀」の幕は、1914 年 8 月で下りる。しかし、「長い 19 世紀」は、世界経済などある種の変容を捉えるには有益な概念だが、別の変容に対してはあてはまらない。第一次世界大戦そのものも巨大な過渡期であり、連鎖作用の拡大を示している。第一次世界大戦は限られた地域の戦闘として始まったが、すぐにアフリカ西部・東部に飛び火し、さらに「世界戦争」に発展していった。②参戦諸国の国内情勢が前例のない劇的な変容を遂げたのはようやく 1916 年・17 年になってからのことである。1919 年はヨーロッパ、中近東、アフリカの政治的再編の年であり、③アイルランドからエジプト、インド、中国から朝鮮に至るまで、革命的、反植民地主義的激動が起こった年であった。また、多くの人々が期待した平和の約束が果たされなかった、という幻滅は世界中に広がった。大袈裟に言えば、戦争が終わってはじめて、人類はもう 19 世紀に生きていないことに気がついたのである。だとするなら、多くの点で 1770 年代に始まる「長い 19 世紀」の終焉は 1920 年代初頭におかなければならないだろう。それは

グローバルな戦後期への過渡期をなしており、新しい技術と新しいイデオロギーとが1914年以前の時代と1920年代初頭とを深く隔てている。ただし19世紀を「暦年」と定義してみても、「長い」19世紀と考えてみたととしても、歴史家の時間も、同時代人たちの時間も、それではっきり定義できるわけではない。

世界の大部分の地域では、1801年、または1800年に新しい「世紀」が始まったわけではなかった。フランスでは、1792年に、共和国の始まりを起点として年を数え始め(1793年を第Ⅱ年とする)、④1793年には新たに風変わりな暦年法が導入されて、1806年にグレゴリウス暦が復活するまで使われていた。ずいぶん不評だった。月も新しい方法で数えられたので、1801年1月1日は、第Ⅸ年4月(または雪月)11日にあたった。ムスリムの暦年法では、1801年1月1日は、1215年8月半ばの何ということもない日である。シャムやその他の仏教諸国では仏教の暦年で2343年だった。ユダヤ教の暦年では5561年である。中国では、1801年1月1日は嘉慶5年乙未の日にあたる。巨大な中華帝国ではこの他にも多様な暦が使われていた。ムスリム、チベット人、イ族やダイ族はそれぞれ独自の暦を持っていた。1800年から1801年に年が変わったときにも、それは時代を区切るものとはみなされなかった。1796年2月9日に60年の統治を経て偉大な乾隆帝が譲位し、その子の仁宗が帝位について「嘉慶」が始まったときに、新しい時代は始まっていたのである。ヴェトナムでは、他のアジア諸国に先駆けて、⑤1802年の国家統一とともに公的には西洋暦が導入されたが、それでも1644年に滅亡した明朝の暦がまだ使われていた。中国ではとくに使われなくなっていたものである。1800年から1801年に年が変わり、世紀が変わったという世紀転換の魔術はキリスト教世界に限られるのだ。「世紀の転換」が認識されたところが「西洋」である。

今日の時間のシステムは直線的で、どの時点も数字で刻まれており、慣習的な第一年(annus domini)の前と後に年を数えていくものである。中国では皇帝の交代によって年を新たに数え始めるので、ユダヤ教、キリスト教、イスラームの暦のように一貫して続く年代とは無縁である(西洋の暦法に完全に従うようになったのは共産党政権になってからである)。日本でも天皇の交代によって年を数える。1873年は明治6年である。ところが1869年には、万世一系の皇統という連続性の観念が導入された。王朝の交替によっても損なわれることはないというのである。「創られた伝統」の典型例であろう。今や1873年は、天照大神の孫、神話上の神武天皇が皇位についた年から数えれば、皇紀2533年となった。

様々な時代区分があることを考えれば、時間の秩序の相対性がよりはっきりするだろう。ヨーロッパでは古代・中世・近代という三段階区分が1680年代以来、徐々に使われるようになった。同じような時代区分は、他の文明にはみられない。刷新とか、復活は存在したかもしれない。しかしヨーロッパと接触する以前には、過去を超える新しい時代にいま生きている、という観念は稀だった。大久保利通のような若々しい指導者たちが担った明治維新という体制変革によって、日本にも、新しい時代が始まって未来に向かう、というレトリックが現れた。これこそ「近代」意識に本質的な要素である。それは同時に伝統主義的に理解された。公式には古代に由来する聖なる天皇の御親政が復活したと強調し(もちろん明治時代の政治実践の模範になるようなものは日本の過去には存在しなかった)、1868年以降、古代の復活によって新しい時代が始まったと位置づけ、間の時代をヨーロッパ風に「中世」として捉えたのである。「中間の時代」という考えは、中国にはなく、ヨーロッパの思考様式が輸入されてもそれは変わらなかった。「中世」というカテゴリーは、中華人民共和国でも台湾でも、自国史に適用されることはなかった。中国の正統派マルクス主義史学は、⑥1842年の南京条約を「帝国主義的侵略」の始まりと捉えて中国近代史の始まりとし、1919年の反帝国主義闘争に始まる「現代史」がこれに続くとしている。⑦これによれば、内容的に規定される19世紀は1840年代に始まることになる。

〔出典：Jürgen Osterhammel, *Die Verwandlung der Welt. Eine Geschichte des 19. Jahrhunderts*, München, C. H. Beck, 2009, pp. 84-102. なお、訳出にあたって一部の表現を改めた。〕

問1 下線部①に関連して、米西戦争を指導し、プエルトリコ、フィリピン、グアムを獲得したアメリカ合衆

国大統領の名を答えなさい。

問 2 下線部②について、1917 年のロシアでは革命が起こり、長い伝統を持つ帝政が倒された。このときのロシア皇帝の名を答えなさい。

問 3 下線部③について、インドで「非暴力・不服従」を唱え、独立運動を指導した人物の名を答えなさい。

問 4 下線部④に関連して、フランス革命後、暦法だけでなく、度量衡改革も行われた。フランス革命後に導入された度量衡法の名称を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して、このときヴェトナムを統一し、皇帝となった人物の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥について、この条約によって清朝がイギリスに割譲した島の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦のように考えた場合、中国史には「長い 19 世紀」という考え方は当てはまらないが、同じことは日本史にも言えよう。なぜ日本史に「長い 19 世紀」論が当てはまらないか、40 字以内で述べなさい。

問 1 マッキンリー

問 2 ニコライ 2 世

問 3 ガンディー

問 4 メートル法

問 5 阮福暎

問 6 香港

問 7 明治維新を境に大きな変化があり、その前後の時代をまとめて捉えられないから。

《出典》Jürgen Osterhammel 「Die Verwandlung der Welt. Eine Geschichte des 19. Jahrhunderts」 pp. 84-102, 一部改変 C. H. Beck (2009)

【5】2020 東京外国語大学

前近代において、多様な人々を包摂して緩やかに統一されていた帝国は、ヨーロッパ発祥の近代文明と直面することになった。近代性との対峙によって、各地の人々は、自らの歴史や文化、望ましい国家統合のあり方について模索することとなり、そこから、現代につながる新たな国際秩序が生み出されてきた。オスマン帝国は、その典型といえる「東方問題」を経験した。以下の史料 3 点は、19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけてのオスマン帝国の内外の動向に関わるものである。これらの史料を読み、以下の問に答えなさい。なお、各史料内の()は原文内の注記であり、[] および*は出題者による注記である。

[A] ベルリン条約(1878 年 7 月 13 日)

第 1 条 ブルガリアは、スルタン陛下の主権のもとに貢税義務のある自治公国に組織される。それは、①キリスト教の政府と国民軍を保持する。

第 3 条 ブルガリア公は、住民によって自由に選挙され、列強の同意を得てオスマン帝国政府によって認められる。ヨーロッパの諸大国を治めるいずれの王家の一族も、ブルガリア公に選挙されてはならない。〔中略〕

第 25 条 ボスニア・ヘルツェゴヴィナ両州は、オーストリア＝ハンガリーによって占領され、統治される。〔中略〕

第 26 条 モンテネグロの独立は、オスマン帝国政府および②締約国のうちでそれをまだ認めていなかったす

べての締約国によって承認される。

第 34 条 締約国は〔中略〕セルビア公国の独立を承認する。

第 43 条 締約国は〔中略〕ルーマニアの独立を承認する。

第 45 条 ルーマニア公国は、ロシア皇帝陛下に対し、1856 年のパリ条約に従ってロシアから分離した
③の一部を返還する。

〔出典：歴史学研究会編『世界史史料 6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ』岩波書店、2007 年。
なお、一部の表現を改めた。〕

[B] ユスフ＝アクチュラ『三つの政治路線』（1904 年）

オスマン帝国において、④西洋に感化されつつ、強化と進歩への願望が自覚されて以来、主として三つの政治的路線が構想され追求されてきたと私は考える。その第一は、オスマン政府に属する多様な諸民族を同化し、統一して一つのオスマン国民を創出すること。第二には、カリフ権がオスマン朝の君主にあることを利用して、すべてのイスラーム教徒を上述の政府の統治下で政治的に統一すること。〔中略〕第三に、人種に依拠したトルコ人の政治的ナショナリティを形成することである。〔中略〕

すなわち、オスマン国民は、オスマン国家のすべての民族の意思に反して、外国の妨害にもかかわらず、オスマン政府の指導者の何人かが、いくつかのヨーロッパ諸国……を頼って創出しようとしたものなのだ！
〔中略〕要するに、⑤国土の内外でこの政策(オスマン国民の創出)に全く適合しない環境が生じた。それゆえ私の考えでは、もはや、オスマン国民の創出に努力するのは、無駄な骨折りなのである。〔中略〕

トルコ人の統一という政策の利益について言えば、オスマン帝国のトルコ人は、宗教的かつ人種的な紐帯によってきわめて緊密に、単に宗教的である以上に緊密に統合されるだろう。〔中略〕しかし、本質的で大きな利益として、それは、言語、人種、慣習、さらには大多数の宗教でさえ一つであり、アジア大陸の大部分とヨーロッパの東部に広がるトルコ人の統一に……寄与するだろう。また、この大きな集合体においてオスマン国家は、トルコ人社会の中で最も強力で最も進歩的で最も文明的であることから、最も重要な役割を演ずるだろう。〔中略〕

トルコ人を統一するという政策の実行における内的な障害は、イスラーム(による統一)政策よりも大きい。西洋の影響によってトルコ人の間にどれだけナショナリズム思想が入り始めたとしても、上述のように、この出来事はまだとても新しい。トルコ人という観念や、トルコ文学、トルコ人の統一という夢想は、まだ生まれたばかりの赤子である。……今日ほとんどのトルコ人は、自分たちの過去を忘れた状態にあるのだ！

〔出典：歴史学研究会編『世界史史料 8 帝国主義と各地の抵抗 I』岩波書店、2009 年。なお、一部の表現を改めた。〕

[C] T. E. ロレンス『知恵の七柱』（1922 年）

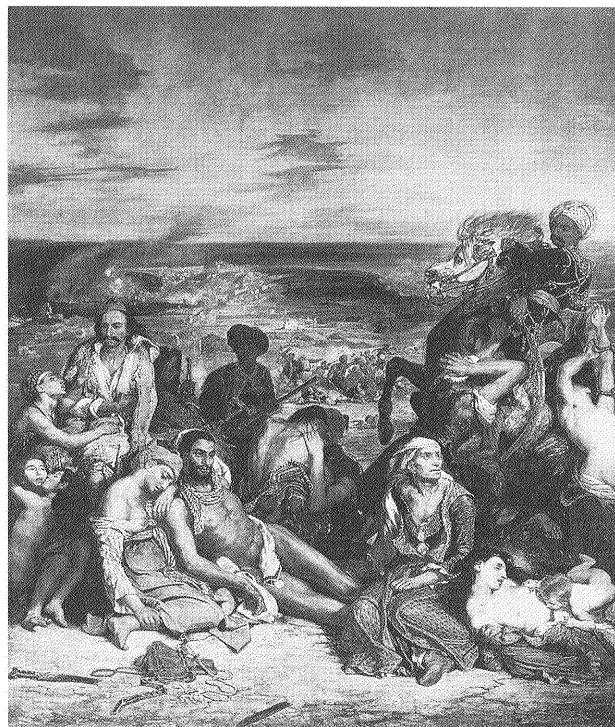
トルコ革命が起こり、アブデュルハミト〔2 世〕は退位させられ、「青年トルコ人」の政権となる。アラブにとっては、視野が明るくなった瞬間だった。「青年トルコ人」運動は、老スルタンのイスラームの教主的把握と⑥パン＝イスラーム主義思想に対する反乱である。アブデュルハミトには、みずからイスラーム世界の精神的指導者であることによって、世俗の物ごとにおいてもまた、最高の指導者であろうとする野心があった。運動の若手政治家は彼に反抗し、主権国家の憲法理論に駆られて彼を投獄した。〔中略〕〔西アジアは〕自治と民族の自由を目指す戦争の夢を見始めていたのだ。この傾向が最初に、そしてつとにも強烈に現れたのは近東、つまりバルカンの諸小国だが、ほとんど未曾有の殉難を経ながら、トルコからの分離独立という目標に向かって彼らを支えたのは民族意識だった。〔中略〕

彼ら〔パン＝イスラーム主義者〕の最大の切り札は、昔風のやり方でトルコを⑦で分割するというサ

イクス＝ピコ協定だった。トルコは、アラブ系住民に連合国の紛うことのない二枚舌を分からせるためにその文言(1917年秋のボリシェヴィキ革命後にソヴィエト政府が公表したもの)を国内のあらゆる新聞に印刷した。ジェマル*はバイルートのある晩餐会で協定文よりも悪意に満ちた記事を読み上げて、わが方の支持者を困惑させた(1917年12月5日にバイルート＝クラブで行われた彼自身の送別会でのトルコ語演説がアラビア語に通訳され、翌日および12日づけのアラビア語新聞「アル＝バラグ(＝情報)」で報道)。われわれはスパイの手を経て多数の部数の新聞を入手したが、しばらくの間はその公表によって深く、また当然ながら傷ついた。〔出典：T. E. ロレンス, J. ウィルソン編／田隅恒生訳『完全版 知恵の七柱』平凡社, 2008～2009年。なお、一部の表現を改めた。〕

* ジェマル：ジェマル＝パシャ(1872－1922)。オスマン帝国の軍人で、青年トルコ革命に参加。1913年のクーデター以後、タラート＝パシャ、エンヴェル＝パシャとともに、三頭政治を行って帝国を統治した。

問1 下線部①に関連して、これより半世紀早い1821～29年に、キリスト教徒の多いギリシアで、オスマン帝国からの独立戦争が起こった。その戦いに題材をとった下の絵画は、ヨーロッパの人々のあいだで、ギリシア支援の声が高まる契機となった作品である。この絵を描いた画家の名と、この画家に代表される、理性や規範よりも感情や個性に重きを置く思潮の名を答えなさい。



《キオス島の虐殺》1824年

問2 下線部②に関連して、オスマン帝国とヨーロッパ列強6か国が参加した1878年のベルリン会議では、オスマン帝国からの独立を求める諸民族の帰趨が定まった。この会議の調停を担当したプロイセンの政治家で、ドイツ帝国の宰相を務めた人物の名を答えなさい。

問3 ロシア帝国とオスマン帝国は、領土をめぐって18世紀から数次にわたって戦争を行った。③には、

その過程で 1812 年にオスマン帝国からロシアに割譲されたが、ヨーロッパ諸国の不満によってロシアが 1856 年のパリ条約で一部を放棄し、ベルリン条約であらためて獲得した地域名が入る。この地域の名を答えなさい。

問 4 下線部④に関連して、18 世紀後半以降、被支配民族の独立運動や、ヨーロッパによる軍事的・政治的侵略によって弱体化しつつあったオスマン帝国では、近代化を目指す改革が行われた。この改革では、列強の干渉と、帝国からのキリスト教徒やエダヤ教徒の離脱を防ぐべく、全てのオスマン帝国臣民の平等が目指された。このうち、アブデュルメジト 1 世により開始された改革の名を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して、オスマン帝国では、キリスト教徒の多いバルカン地域以外でも帝国からの離脱が進行する。エジプトではヨーロッパからの軍事介入を受けてオスマン帝国の統治に混乱が生じ、ムハンマド＝アリーがこれを機に独自の勢力を築くことになった。この動きのきっかけとなったエジプト遠征を指揮し、ピラミッドの戦いでオスマン軍を破ったことで知られる軍人の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥に関連して、19 世紀後半になると、産業革命を経たヨーロッパ列強の、オスマン帝国を市場とみなす植民地主義はますます強まった。これに対して、反帝国主義運動とイスラーム世界の統一を訴え、インドからヨーロッパ諸国に至る幅広い地域で活動し、当時のムスリムの知識人に大きな影響を与えた改革思想家がいた。イラン出身とされるこの人物の名を答えなさい。

問 7 第一次世界大戦中に、連合国は、戦後の敵領土・植民地の分配を決めた複数の秘密条約を結んだ。このうち、戦後のオスマン帝国領の分割に関する秘密協定であるサイクス＝ピコ協定に参加した、⑦に入る 3 か国の名を答えなさい。

問 8 史料[B]は、社会活動家ユスフ＝アクチュラが、オスマン帝国がとるべき政治路線について述べたものである。オスマン帝国に体制改革を必要とさせた当時の国際情勢について説明したうえで、19 世紀～20 世紀はじめのオスマン帝国で、為政者や知識人のあいだに人々の政治的統合についてどのような思想が現れたのかを、500 字以内で論じなさい。その際、史料[A]～[C]と問 1～7 の設問文を参考にしなさい。また、以下の語句を解答に必ず使用し、使用した箇所すべてに下線を引きなさい。

ギュルハネ勅令 ミドハト憲法 青年トルコ
パン＝イスラーム主義 ムスタファ＝ケマル

問 1 ドラクロワ、ロマン主義

問 2 ビスマルク

問 3 ベッサラビア

問 4 タンジマート

問 5 ナポレオン

問 6 アフガーニー

問 7 イギリス、フランス、ロシア

問 8 産業革命を経たヨーロッパ列強は 19 世紀以降世界各地に一層進出し、オスマン帝国はその軍事的・経済的侵略を受けて弱体化した。これに対し知識人たちは国を強化して対抗すべく政治的統合のあり方を検討した。第一はオスマン帝国に属する諸民族を統合しヨーロッパ型の近代化を目指す改革である。ギュルハネ勅令により始まったタンジマートは、全臣民の平等や議会制を宣言したミドハト憲法を生んだ。この憲法はロシア＝トルコ戦争を口実として停止され、これを遂行したアブデュルハミト 2 世はスルタンのカリフ権に基づき、アフガーニーの主張したイスラーム世界を統一してヨー

ロップに対抗するパン＝イスラーム主義を進めたが、実際にはそれを利用して専制政治を行い近代化を後退させたため、青年知識人の反発を買った。青年トルコと呼ばれるこの勢力はヨーロッパの思潮の影響を受けてトルコ人のナショナリズムを主張し、1908年に革命を起こし憲法を復活させた。第一次世界大戦でオスマン帝国は敗れ、セーヴル条約等により国土分割の危機に陥るが、ムスタファ＝ケマルがトルコ人による抵抗運動を指導し、オスマン帝国のスルタンを廃して、1923年にトルコ共和国を樹立した。

【6】2020 東京外国語大学

私たちはいま、「国境」の存在を自明とする世界に生きている。だが、一本の線で囲まれた国家をひとつの中央政府が統治し、国家が「国境」を越えて行き来するモノや人、情報を管理する、という現在の国家の枠組みが成立し、世界に普及したのは近代以降のことである。近代以前においてはしばしば国家と国家の間には境界地域が存在し、その地域の居住者はしばしば仲介者の役割も果たしてきた。以下の文章は、東アジアの境界地域とそこに暮らす人々について書かれたものである。この文章を読み、以下の問に答えなさい。なお、文中の()は原文内の注記であり、[]は出題者による注記である。

(著作権処理の都合により省略)

《出典》 『東アジアの民族的世界』 佐々木史郎，加藤雄三編，有志舎，2011年

問1 下線部①「非公認の密貿易や密航」に関連して、13世紀から16世紀にかけて、朝鮮半島から中国東南沿海、東南アジアにまたがる海域では倭寇と呼ばれる密貿易・海賊集団が勢力を振るった。16世紀前半に生糸や硫黄の密貿易で財をなした倭寇の頭目王直が拠点とした港町を擁し、ポルトガルやオランダ、イギリスの商船による貿易の拠点ともなった日本の島の名を答えなさい。

問2 下線部②「大航海時代以後のヨーロッパ」に関連して、科学の進歩を伴うヨーロッパ世界の拡大は、従来、肯定的に評価される傾向があった。しかし、これについて先住民族や奴隷への暴力や収奪といった面から歴史を読みなおす視点が現れている。例えば、近年、アメリカ合衆国の諸都市では「新大陸発見者」とされる人物の銅像の撤去を求める動きも起きている。ジェノバ出身のこの人物の名を答えなさい。

問3 下線部③「個人の日記や紀行，随筆」に関連して、北朝から唐にかけての中国では、国家の保護を受けて仏教が隆盛し、経典を求めてインドにおもむく僧侶も現れた。彼らが持ち帰った経典は、翻訳と研究を通してさらに中国仏教を発展させたが、彼らの旅の見聞録もまた、中国の周辺地域に関する貴重な情報を後世に残した。このうち、7世紀前半に陸路でインドにおもむいたある仏僧の体験は、太宗の命により、その口述をもとにインド旅行記としてまとめられた。この仏僧の名とインド旅行記の名を答えなさい。

問4 下線部④「『金史』(元代に編纂された金王朝の歴史)」に関連して、金を建国した女真の中には、契丹の影響下に入った熟女真や、契丹の影響があまり及んでいない生女真がいた。この生女真の一集団の族長の家系に生まれ、一族とともに女真の各集団を統一しながら契丹に対して蜂起し、やがて皇帝に即位して金を成立させた人物の名を答えなさい。

問5 下線部⑤「ロマノフ王朝」に関連して、アリューシャン列島に漂着した日本人、大黒屋光太夫らが、1791年に皇帝エカチェリーナ2世に拝謁した。翌年、ロシア政府は初めて日本に使節を派遣して通商関係の

樹立を図り、あわせて、光太夫らを帰国させた。光太夫と親交があり、江戸幕府との交渉にもあたった、この使節の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥「境界地域のような曖昧な地域の存在が許されなくなってしまった」に関連して、境界線の曖昧な地域についてどのような対応がなされるかは、東アジアの中でも地域によって異なった。1870 年代には清朝と明治日本の間でも琉球を舞台に境界線をめぐる対立が起こったが、解決には長い時間を要した。この対立の契機となった出来事はどのようなものであったか、以下の語句をすべて用い、40 字以内で説明しなさい。

琉球王国 両属 沖縄県

問 7 下線部⑦に関連して、近代以降、世界各地で「先住民族」は個としても集団としても長らく人権を奪われてきた。2007 年に「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択されたことを契機として、日本でも 2019 年 4 月、「④の人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律案」が可決、成立した。これは、権利保障の点でなお課題を残すものの、④の人々を日本で初めて法的に「先住民族」と認めた法律である。この④に入る民族の名を答えなさい。

問 1 平戸

問 2 コロンブス

問 3 玄奘、『大唐西域記』

問 4 完顔阿骨打

問 5 ラクスマン

問 6 琉球王国は日本と中国に両属していたが、明治政府は琉球処分を行い、沖縄県とした。

問 7 アイヌ

《出典》「東アジアの民族的世界 境界地域における多文化的状況と相互認識」佐々木史郎/加藤雄三編, p. 8-11, 14-17, 一部改変有志舎(2011)

【9】2018 東京外国語大学

人類はこれまでにじつに多くの災害を経験してきた。そのなかには、人智の及ばない原因による自然災害もあれば、人為的な原因による災害もあった。被災者や、災害をこうむった社会は、被災者個々人の臨機応変で忍耐強い自助努力だけでなく、被災者どうしの助け合いや、地域社会や政府、国際社会からの人道支援、さらには海外への移住によって災害を乗り越えてきた。そのような努力はしばしば被災した地域だけでなく、周辺地域の社会にまで変化をもたらし、ときには広く国際社会にまで影響を及ぼして、世界史上の画期となることもあった。

以下の〔A〕～〔C〕は、近代以降、人類が経験した災害とその対応についての史料からの抜粋である。これらの史料を読み、以下の問に答えなさい。

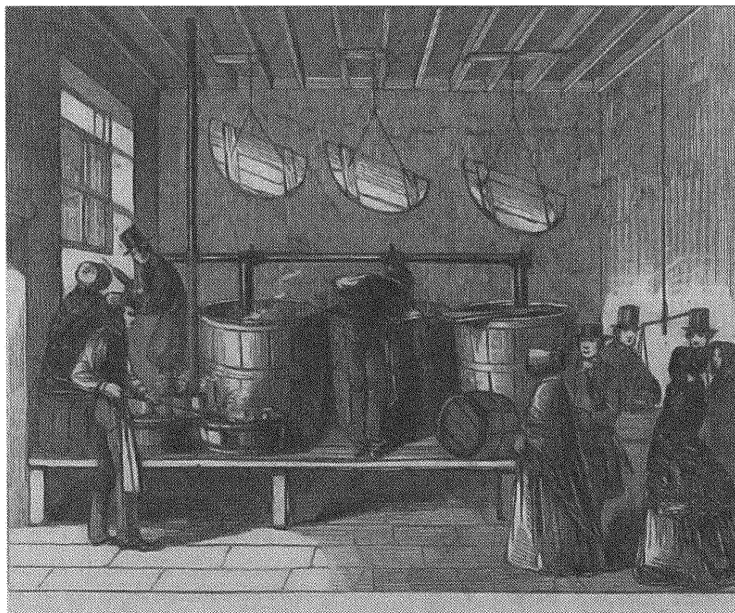
なお、各史料の冒頭には解説文が付されている。また、〔 〕及び*は、出題者による注記である。

〔A〕 アイルランドでは、1845 年から約 5 年間、ジャガイモの凶作が続き、飢饉が発生した。とくにジャガイモを主食としていた貧農層が大きな被害を受け、およそ 100 万人が死亡し、150 万人が移民によってアイルランドを離れたと推測される。飢饉が発生すると、宗教団体による慈善事業として、アイルランドの各地に炊き出し所が設置され、困窮者に食事が配給された。下記の史料は、そうした炊き出し所のひとつで、アイルランド南部の都市コークに設置された施設についての新聞記事の一部と挿絵である。その後、炊き出

し所は効果的な対策であると認められ、国費による炊き出し所の設置、運営が始まった。全体の規模としては、最大で1日300万人に食事が提供され、配給が行われた期間は死亡率が低下したことが判明している。

[以下、史料本文]

図版には、①ヨークの街において被害を緩和するための慈善の試み、すなわちフレンド会〔クエーカーとも呼ばれるキリスト教徒の一派〕の炊き出し所が描かれている。アイルランドには、このような炊き出しを行う施設が各地に存在する。そのなかで、この図版を選んだのは、炊き出しがフレンド会によって始められたからである。炊き出し所を運営する資金は、主に慈善の施し手となる人々から集められている。現在、この施設は毎日1500ガロンのスープを提供することができるが、そのための出費、ないし費用は、ひと月に120ポンドから150ポンドであり、これを炊き出し所の支援者が負担している。現時点では、毎日150ガロンから180ガロンのスープの需要がある。これには新鮮な牛肉120ポンド、米27ポンド、乾燥エンドウ豆14オンス、そして適量の野菜が必要になる。配給券の値段は、誰もが買えるように、1枚1ペニーで配布されている。困窮者はこの配給券を提示すると、スープ1クォートとパンひと塊が支給される。きちんと調理された、栄養のあるスープとパンである。



スープは可能な限り清潔な状態のもとで、つくられている。安い食事を求めて炊き出し所に集まる貧民や、スープがつくられているのを見にくる人々、そして、スープの品質を検査し、改善案を出す人々が炊き出し所を汚さないように十分注意が払われている。②図版に描かれている大樽の中身は、隣接する建物に設置された蒸気機関によって攪拌されている。スープの鮮度と美味しさを維持するため、同じ樽を使い続けるのではなく、複数の樽を交互に用いている。この炊き出し所とフレンド会活動全般は、惜しみない賛辞に値する。というのも、③フレンド会は、これらの炊き出し所を考案するだけではよしとせず、炊き出し所を西部に広め、遠方の貧民をより効果的に救うために、資金を集めてきたからである*。

(出典：Illustrated London News, 16 January 1847)

* アイルランド内外では、多くの募金組織が設立された。ヨーロッパ諸地域からだけでなく、オスマン帝国やインドからも多額の義援金が寄せられた。

[B] 1919－1920年に、2年連続の干ばつから凶作が続き、中国華北の広大な地域で大飢饉が発生した。この飢饉の被災者は2000万人、犠牲者は50万人に達したという。この飢饉では、公的な救済以外に、居住地を捨てて移住するなど、民衆は独自に救済を模索した。災害は、このような民衆の反応を通じて、大きな社会的変化を引き起こすことがある。日本人が上海に創設した東亜同文書院の研究部は、『北支那飢饉救済の調査』という報告書に、この飢饉の様子を詳細に記述した。以下は、この報告書からの抜粋である。

[以下、史料本文]

(著作権処理の都合により省略)

《出典》 永岡正己／沈潔監修 『戦前・戦中期アジア研究資料6：中国占領地の社会調査I，23巻：社会事業・災害救助①』 近現代資料刊行会，2011年

- * 平糶(へいちょう)：政府や地方行政機関等の備蓄米穀を市場価格より安く販売し、飢饉で混乱した米穀価格を調整すること。
- * この報告書の別の箇所の記述によると、日英米仏の公使が共同で運営に当たった国際統一救済会は国際的義援金を募集し、救済団体の中でも最大の活動をした。国際統一救済会では、アメリカ及び米国赤十字社が募集した義援金が最も多く、1921年5月末の時点で合わせて8,967,000元に達した。

[C] 核エネルギーの実用化は、広島、長崎への原爆投下が示すとおり軍事面で先行した。その非人道性への反省から推進されだした平和利用も、チェルノブイリ原発が例証したように事故の危険性から無縁ではない。その用途が何であれ核の超絶的破壊力と放射能は人類の存続を脅かしかねず、核実験、核戦争、または原発事故の惹起しうる大災害が現実の脅威となったことで、20世紀は災害史の新時代を画したといえる。このなか、核戦争の危機をいち早く先見した指導的科学者たちは、打開の糸口を国際社会の連携に見出した。以下は1955年発表の「ラッセル・アインシュタイン宣言」からの抜粋である。

[以下、史料本文]

人類の直面する悲劇的状況のなかでわれわれは、科学者が一堂に会し、大量破壊兵器の開発の結果生じている危機のほどを見きわめ、ここにそえた草案の趣意における決議を審議すべきであると痛感する。〔中略〕

水爆戦争において大都市が跡形もなくなるだろうことは疑いない。もっともこれは、直面せねばならない小さな災禍の一つにすぎない。かりにロンドン、ニューヨーク、モスクワの人々が全滅したとしても、世界は数世紀のうちに打撃から立ち直るのかもしれない。しかし、とりわけビキニ実験を経た今、われわれは核爆弾が想定をはるかに超えた広大な領域にわたって破壊を漸次拡大しうることを知っている。

たしかな情報筋によれば、現在製造可能な爆弾は広島を破壊した*その2500倍の威力をもつことが言明されている。そのような爆弾がかりに地表付近ないし水中で爆発すれば、放射性粒子が上空に舞い上がる。それは死の灰または雨となって徐々に降下し、地表面に達する。日本の漁師とその漁獲を汚染したのは、この灰塵にほかならない。〔中略〕

⑥軍備の全面的削減の一環として核兵器を放棄する協定は、最終的な解決をもたらすこしないものの、ある重要な目的に寄与するであろう。第一に、およそ東西間の協定は、それが緊張の緩和に資するかぎり有益である。第二に、熱核兵器の廃棄は、相手方によるその誠実な履行が相互に信用されるかぎりにおいては、両陣営を目下神経質にしている真珠湾式奇襲への懸念を軽減するであろう。それゆえわれわれは、わずかな

第一歩であろうとも、そのような協定を歓迎すべきである。〔中略〕

決議

われわれはこの⑦会議を呼びかけ、世界の科学者と一般大衆がそれを通じて以下の決議に賛同するよう請うものである。

「今後のいかなる世界戦争でも核兵器がきつと使用されるであろうし、そのような兵器が人類の存続を脅かしている現実にかんがみ、われわれは世界の各国政府に対し、みずからの目的が世界戦争によっては推し進められないものと悟り、かつそれを公に認めるべきこと、したがってまた、相互間のあらゆる紛争事項の解決のためには平和的手段を模索すべきことを強く勧奨する。」

＊ 第二次世界大戦の終結間際に赤十字国際委員会により日本に派遣されたスイス人医師ジュノーは、1945年9月、戦後の占領統治に着手していたマッカーサーの許可を得たうえで、米軍から提供された15トンの医薬品と医療器材とともに原爆で廃墟と化した広島に入り、それらを被災地に配給する医療支援活動を行なった。

(出典：“The Russell-Einstein Manifesto,” in J. Rotblat, *Scientists in the Quest for Peace: A History of the Pugwash Conferences*, Cambridge: MIT Press, 1972. なお、一部を省略した。)

問1 下線部①のコークは、アイルランドから多くの移民が旅立った港町である。凶作と飢饉のために生きていくのが困難になった人々は、海外に新天地を求めた。移民の一部は大西洋を渡り、アメリカに移住してコミュニティを形成し、しだいに社会的・政治的な影響力を高めていった。ジャガイモ飢饉の時期にアメリカに渡ったアイルランド系移民で、第二次世界大戦後、アイルランド系カトリック初のアメリカ大統領を出した家門の名を答えなさい。

問2 下線部②の蒸気機関は、鉱山採掘、繊維工業、交通機関に応用され、産業革命を支える大きな動力源になったことが知られている。新聞記事は、このような新しい科学技術を活用することによって、大規模な食料供給が可能になったことに着目している。この時期の蒸気機関に用いられた化石燃料の名を答えなさい。

問3 下線部③に関連して、イギリス政府は、国費による炊き出し所の運営に先立ち、アメリカからトウモロコシを緊急輸入してアイルランドに供給した。しかし、無償提供は自由貿易の原則に反するとして、トウモロコシの供給は、最初は原価で、のちに市場価格で行なわれた。同様に、この自由貿易の原則に則り、イギリス政府は1846年に穀物法を撤廃したため、アイルランドからの穀物輸出を助長し、かえって食糧不足を悪化させたと非難された。この自由貿易主義の理論的支柱を形成した経済学者で、『経済学及び課税の原理』(1819年)の著作で知られる人物の名を答えなさい。

問4 下線部④「飢饉のために居住地とは別の省に流れ移った人々」に関連して、他省への大量の移民は、しばしば移民受入先となった地域の社会に深刻な影響を及ぼした。清朝では、モンゴル、チベット、新疆等がある特殊な行政区域に区分し、自治を認めていたため、地域に固有の伝統的な生活様式がよく守られていた。しかし、清朝時代に人口増加に伴う移住が断続的に発生すると、北方のモンゴル人居住地域では南方から多くの農民が流入し、遊牧民が主体のモンゴル人居住地域に定住農耕が拡大するという事態を引き起こした。清朝が設置した、モンゴル、チベット、新疆等を含む行政区域の総称を答えなさい。

問 5 下線部⑤「土匪の横行が頻繁である」に関連して、災害は、ここでの土匪のように、困窮した人民を暴徒化させたが、中国では歴史上、このような暴徒の蜂起や反乱が、時の政権の転覆に至るケースがよく見られる。14 世紀中期、相継ぐ水害と飢饉に苦しむ民衆が、マニ教や弥勒信仰等をもとにしたある宗教結社となって各地で反乱を起こした。これに加わり、やがて頭角を現した朱元璋は、ついには元朝の中国支配を終わらせ、明朝を誕生させた。新王朝の誕生を招いたこの反乱の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥に関連して、1963 年にソ連、米国、英国は大気圏、宇宙空間および水中での核実験を禁止する部分的核実験禁止条約を締結した。もともと同条約は、3 カ国による核の独占であるとして後発核保有国フランスと当時核開発中の中国が調印を拒否したほか、地下核実験が除外されるなど、実効性は限定的であった。その後 1968 年、この時点で核をすでに保有する上記 5 カ国以外による核保有を禁止する条約が締結され、核保有国主導型の国際的核管理に一定の道筋がつけられた。英語で NPT と略称されるこの条約の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦の会議は、1957 年にカナダのパグウォッシュ村で発足をみた。同会議は原子力利用のはらむ危険性、核兵器の管理問題、および科学者の社会的責任を議題とし、その後も回を重ね、核兵器廃絶をめざす世界的な運動の呼び水となった。この第 1 回パグウォッシュ会議には日本からも 3 名の物理学者が参加した。うち 1 名は日本人初のノーベル賞受賞者として知られ、「ラッセル・アインシュタイン宣言」にも署名人として名を連ねている。この物理学者の名を答えなさい。

問 8 史料 [A] ～ [B] には、飢饉を経験した人々と社会の対応が、また史料 [C] には、それまでは存在しなかった核エネルギーの軍事利用が起こしうる、破滅的な災害への対応が具体的に示されている。これらの歴史的事例に触れながら、災害に対する社会の対応がどのようなものであったのか、史料 [A] ～ [C] の順に分析し、600 字以内で論じなさい。

その際、史料 [A] ～ [C] だけでなく、各史料の解説文、出題者による注記、問 1～7 の設問の文章および解答をよく考慮し、必要に応じて論述に用いなさい。また、以下の語句を必ず使用し、使用した箇所すべてに下線を引きなさい。

移住 人道支援 政府 国際社会

問 1 ケネディ(家) 問 2 石炭 [ヨークス] 問 3 リカード

問 4 藩部 [外藩] 問 5 白蓮教徒の乱 [紅巾の乱]

問 6 核拡散防止条約 [核不拡散条約、核兵器の不拡散に関する条約]

問 7 湯川秀樹

問 8 19 世紀アイルランドにおけるジャガイモ飢饉では、蒸気機関を活用したキリスト教徒の団体フレンド会による炊き出しが人道支援として行なわれ、大きな効果をもたらした。トウモロコシの緊急輸入による支援が失敗に終わったイギリス政府もこれにならい、国費による炊き出し所を設置した。ただ、なおも生活に窮した人々の多くは、危険を冒して海外に新天地を求めて移住し、主な移住先のアメリカでは、第二次世界大戦後に大統領を輩出するなど、政治的影響力を高めていった。1919-20 年の華北大飢饉では、日英米仏の公使の主唱で結成された国際統一救済会が国際的義捐金を募集するなどの国際的な人道支援が行なわれた。政府もコーリヤンの平糶や賑務処を介した被災者救済策を講じたが、新聞などでは対応が不十分であるとして批判された。一方で、流民となって他省に移住するなど、自助努力で生計の資を求める人々も多数に及び、なかには土匪となって治安を乱す者もあり、

現地の社会に変化をもたらした。1945 年の広島への原爆投下後には、スイス人医師による人道支援も行なわれた。また、冷戦下で核実験や核戦争による放射能災害の危機が現実味を帯びると、科学者たちが国際社会の連携による核兵器廃絶を呼びかけ、各国政府に平和的紛争解決を促した。彼らの提言した軍縮に向けた協定は諸国政府間の政治的努力で一定程度実現し、部分的核実験禁止条約や核拡散防止条約などが締結された。

《出典》“Famine and Starvation in the County of Cork”<Illustrated London News, 16 Jan. 1847, Illustrated London News Ltd.> / 永岡正己「戦前・戦中期アジア研究資料 6: 中国占領地の社会調査 I, 23 巻: 社会事業・災害救助①」 / Joseph Rotblat “The Russell-Einstein Manifesto”

【10】2018 東京外国語大学

広大な太平洋上の島々とそれらを取り巻く海からなるオセアニアは、太平洋史の主舞台をなしてきた。わずかな陸地である島々に居住する人々は、豊富な海洋資源を活用し、また陸地での根菜農耕や樹木栽培を営みながら、カヌーなどの高い造船技術と巧みな航海術を用いて互いの島々を行き来し、交易をおこなってきた。しかし、15 世紀に西欧世界によって「発見」されると、インド洋・東シナ海・太平洋での西欧諸国の海上覇権をめぐる争いに巻き込まれ、形成途上の世界システムに取り込まれていった。

以下の文章は、世界から求められた資源の変遷から見た太平洋、とくにオセアニアの近代史について書かれたものである。この文章を読み、問に答えなさい。

(著作権処理の都合により省略)

《出典》 秋道智彌 『オセアニアの地域史』 川田順造、大貫良夫編 「地域の世界史 4 生態の地域史」 山川出版社、2000 年

問 1 下線部①「オセアニアの歴史は海を媒介とし、あるいは海との交流を通じて成立した」に関連して、高い航海技術をもつオセアニアの先住民たちは、生活の場である海(太平洋)を熟知していた。ただ世界史上、太平洋を「世界最大の海洋」として認識し、世界図に表したのはヨーロッパの航海者たちであった。例えば、ポルトガル人航海者マゼラン率いる艦隊は、香料諸島に至る西回り航路を開発する目的でスペインを出発し、すでにコロンブスが「発見」していたアメリカ大陸南端を回って、太平洋横断を果たした。これに対し、南米植民都市の総督であったあるスペイン人探検家は、黄金を求めてパナマ地峡を横断していくなかで、太平洋を「発見」した。この探検家の名を答えなさい。

問 2 下線部②「^{びやくたん}白檀〔19 世紀前半に、中国向けの交易品として集中的に伐採された〕は、オセアニアの港から直接ないしマニラ経由で広東に運ばれた」に関連して、ヨーロッパの交易者は中国からオーストラリアに輸出されていたある商品に対する対価として、中国に輸出できる商品をオセアニアに求めた。そこで目をつけたものが、フィジーやハワイで発見された白檀であり、ナマコであった。島々から白檀やナマコを買い付ける商人たちは、現地住民に装飾品や金属製品を与え、これにより中国・オーストラリア交易を軸として、オセアニア一帯での、ヨーロッパ商人を中心とする交易が成立した。当時のオーストラリアが中国から大量に輸入していた商品作物は何か。その名を答えなさい。

問 3 下線部③「フィジーでは、アメリカ東海岸のセーラムからやってくるアメリカ船の船員とマニラからの

スペイン船に乗船したマニラメンとの出会いが、太平洋のナマコ産業のブームを引き起こすことになった」に関連して、このナマコ加工を担ったのは、フィリピン群島から供出された労働者、マニラメンであった。マニラメンは、太平洋を横断するマニラ・ガレオン交易のスペイン船乗組員でもあり、なかには船から逃亡してアメリカに定住する者たちもいた。ルイジアナ州セントバーナード郡のセント・マロ村は、こうしたマニラメンによって設立されたが、この村民が 1814～1815 年のニューオリンズの戦いに参加していた記録がある。この戦いをふくむ、第 2 次独立戦争とも呼ばれる戦争の名を答えなさい。

問 4 下線部④「本国のイギリスやアイルランドの囚人流刑地として 1788 年にオーストラリアへの入植が始まる」に関連して、1788 年 1 月 26 日に、イギリスの囚人輸送の最初の船団がシドニー湾に到着した。これがイギリスによるオーストラリア植民の始まりとされる。イギリスがこの時期にオーストラリア植民を行った理由について、歴史家の間にはさまざまな意見がある。1788 年という時期と囚人の流刑地という点に着目した場合に、オーストラリア植民の理由として妥当な背景を 30 字以内で述べなさい。

問 5 下線部⑤「こうして島々には、ビーチコマーと呼ばれる白人が居つくようになる」に関連して、太平洋の航海では、ヨーロッパ各地やアメリカからやってくる捕鯨船が重要な役割を果たした。あるアメリカ人作家は、多額の借金から捕鯨船の乗組員となり、1841 年に太平洋航海に出たが、脱走を繰り返し、マルケサス諸島やタヒチ島を転々としながらハワイに至った。1844 年にアメリカに帰国した後、小説家となって、この太平洋捕鯨航海での経験を活かした作品を書いた。このアメリカ人作家の名とこの作品名を答えなさい。

問 6 下線部⑥「ジャパン・グラウンド発見の歴史的な影響は、日本の開国につながった」に関連して、日本では古くから独自の捕鯨が行なわれていたが、大々的な捕鯨は江戸時代、17 世紀後半に始まり、幕末まで続いた。鯨の捕獲に始まり、解体、鯨油抽出、鯨肉塩漬けなどの商品加工までを行なう、数千人規模の労働者が働く巨大な組織(鯨組)を擁する日本の古式捕鯨は、藩の支援を受けて大いに栄えた。こうした日本の捕鯨事情について欧米に情報を提供したドイツ人医師・博物学者で、長崎出島で医学を教授し、後に「日本学の祖」と評された人物の名を答えなさい。

問 7 1848 年、カリフォルニアで、ある鉱物資源の鉱脈が発見されたことで、翌年、アメリカに移民が殺到した。その 3 年後の 1851 年以降オーストラリアでも、ニューサウスウェールズやヴィクトリアで同じ鉱物資源が大量に発見された。その大半はイギリスをはじめ世界に流通し、オーストラリアには、イギリスだけでなく、アメリカや中国からも続々と一獲千金をもとめる移民が押し寄せた。この鉱物資源を求めて移民が押し寄せ、人口が激増する社会現象を何と呼ぶか。(⑦)に入るその名を答えなさい。

問 1 バルボア 問 2 茶 問 3 米英[アメリカ・イギリス]戦争

問 4 (次から 1 つ)

- ・アメリカが独立し、新しい囚人の送り先を求めていたため
- ・太平洋に進出するフランスに対抗するため

問 5 メルヴィル、『白鯨』[『モービー・ディック』]

問 6 シ[ジ]ーボルト

問 7 ゴールドラッシュ

《出典》秋道智彌「オセアニアの地域史」川田順造/大貫良夫編『地域の世界史 4 生態の地域史』, pp. 268-309, 一部省略・改変
山川出版社(2000)

現代のグローバルな市場経済の成立の起点は、16 世紀半ばのアメリカ大陸における銀山の開発(新大陸銀)と、銀の世界市場への大量流入にあった。国際的な決済手段として十分な量が供給された銀は、国際通貨として、世界各地に展開していた交易圏どうしを結びつけ、大西洋・インド洋・太平洋という 3 つの大洋を連結する国際的市場経済への道を開いた。

次の〔A〕～〔D〕の文章は、この銀の流通が 16 世紀以降の世界経済に与えた影響を証言する史料の抜粋である。これらの史料をよく読んで、以下の問に答えなさい。

〔A〕 あれほどに有名な(①)の丘は、ピルー王国のチャルカス地方にあり、赤道から南極に向かって 21 度 3 分の 2 の地点に位置するため、回帰線内にあつて熱帯の限界近くにある。にもかかわらず、そこは厳寒の地で、その地の極からの緯度からいえば、温暖ないし暑いはずであるが、エスパニヤのカスティリヤ・ラ・ビエハやフランドル地方より寒い。・・・この丘の鉱山は、インカの時代には採掘されていなかった。インカとは、エスパニヤ人渡来以前のこの地方の領主である。ただし、(①)から 6 レグア離れたポルコ鉱山は開かれていた。(①)が開かれなかった理由は、銀があるとは知らなかったからだろう。・・・事実、エスパニヤ人がピルーに侵入してから 12 年間も、(①)やその富の情報はまったく耳に入らなかった。それが発見された経緯は、次のとおりである。

〔クスコ地方のチュンピビルカ国のグアルパという一人のインディオが(①)の銀鉱脈を発見し、友人と二人で所有するが、不和に到る。〕ハウハのグアンカは腹を立てて、主人のビリャロエルに事を明かした。ビリャロエルは、ポルコ在住のエスパニヤ人だった。彼は、事の真相を知ろうとして(①)に赴き、彼の召使いが告げた宝を発見して、グアンカに登記させ、彼とともにそのセンターノの鉱脈に坑打をした。坑打とは、鉱山を発見して採鉱する者に、法律で認められる一定のバーラ〔約 84cm〕の空間を自己のものとして印づけることをいう。こうして、法廷で申告すれば、王に五分の一税を支払う限り、鉱山の主となって自分のものとして採鉱ができるのである。結局、(①)鉱山の最初の登録と申告が行なわれたのは、1545 年 4 月 21 日、上記エスパニヤ人のビリャロエルとインディオのグアンカの両者により、ポルコの鉱区においてであった。〔中略〕

以上のようにして(①)は発見されたのだが、これは、エスパニヤの幸福のために神の御心の図られたことで、その名も輝かしいカルロス 5 世皇帝が、帝国とエスパニヤの諸王国および新大陸の領地を手に取りめられた時、かつて世界に知られたうちで最大の富が世の明るみに出されんことを神が望まれたのである。ピルー王国で(①)が発見されたと聞くと、多くのエスパニヤ人やインディオがやって来て、・・・年を経ぬうちに、(①)は王国中第一の町になった。〔中略〕

結局、現在では、国王陛下は、(①)鉱山からの銀の五分の一税だけで、毎年百万ペソをお受け取りになり、その他、水銀の富や、これまたひじょうな宝庫である国税からの収入もお持ちである。経験深い人たちは、次のような推測を述べている。(①)の会計局で課税のために計量された額だが、・・・1574 年副王ドン・フランシスコ・デ・トレードの行なった調査の記録によれば、その時までには計量された額は 76 00 万ペソであり、その年以後、1585 年までに、王室帳簿によると、3500 万ペソが課税対象になった。したがって、1585 年までに課税のために計量された額は、1 億 1100 万ペソの精錬額に上る。・・・その年以後、ピルーの船団で運ばれる富はさらに増大した。たとえば、私が帰国した 1587 年の船団では、ピルーとメヒコの両船団で運ばれた額は 1100 万ペソで、そのほとんど半分が国王のものであり、そのうち 3 分の 1 がピルー産〔の銀〕だった。

これほどまでに細かい説明をしたのは、神が^②エスパニヤの国王方に与え給うた力を理解してほしいから

である。その頭上には多くの国々や王国の冠が集まり、神の特別のご恩寵によって東西両インディアもその領土となり、その御力を丸い地球上のすべてに及ぼされた。・・・われわれは、謙虚にお願い申し上げねばならぬ。カトリック王は、神から与えられた新大陸の宝を、聖なる教えに敵対する者との戦いに費し、さらに多くを必要とされているのだから、王のかくも敬虔な信心を嘉され、その戦いに全き勝利と成功を与えられよ、と。

(出典：ホセ・デ・アコスタ／増田義郎訳『新大陸自然文化史』〔1590 年〕岩波書店、1966 年。なお、一部を省略し、また一部の表現を改めた。)

[B] 至尊にして最強なるローマ皇帝陛下、恩寵深き君。

疑いもなく皇帝陛下には、私と私の祖先が、これまでいかにオーストリア王家に対して誠心誠意その幸福と隆昌に奉仕することに没頭してまいったか、またその間至尊なる陛下の祖父君たる故マクシミリアン皇帝陛下の財政に関係し、おそれ多くも神聖ローマ皇帝の帝冠の要求と獲得に際しては・・・多額の金銭を御用立て申し上げ、しかもそれは、私がただに私共一家のみでなく他の私の優れた友人諸賢からも多大の犠牲を払って調達致したものであり、それによって陛下の高き名誉と幸福への御事業も遂行されえたのであったことを、よく御存じであります。

・・・私に対して皇帝陛下は、先般開かれましたヴォルムスの国会において陛下が私と共に計算された・・・あの金額の債務を負うておられるのであります。それは財務官のファルガス様と共に計算いたしましたように、二つの契約で利子を含めて 152,000 ドゥカーテンで、1521 年の 8 月末まで、ということでありまして、その時から勘定されるべきでありました。私は調達いたしました金額について利子を払わねばなりませんでしたが、・・・これまで何も受取ることができなかったのであります。〔中略〕

結局、陛下がかような御自身の繁栄をもたらす私の恭順なる奉仕を望まれるであろうとの私の恭々しき奏上を恩恵深くご賢察くださり、ファルガス様と共にもしくは他の方法で調達されて、かように御貸ししたままになっている金額が利子と共に即刻私に返済されるように御下命くださいますようお願い申し上げます。〔後略〕

皇帝陛下の恭順なる臣、(③)

(出典：諸田実訳「(③)よりカール 5 世への手紙」〔1523 年〕『西洋史料集成』平凡社、1956 年所収。なお、一部を省略し、また一部の表現を改めた。)

[C] 大ムガルの統治下にあり、一般にインドまたはヒンドゥスターンと呼ぶところの、この帝国は、実に広大な面積を有し、四方に広がっております。・・・この広大な国土の中にはきわめて肥沃な土地が多く、・・・そこでは米、麦など、命の糧として必要なあらゆるものが豊富に穫れるばかりでなく、絹、綿、インディゴ、その他旅行記の類に記されている通り、エジプトの知らぬ夥しい商品が溢れているのです。

更にまた、こういう土地には、人口がかなり多く、よく耕作されている所が少なくなく、そこでは職人が、生来いたって怠け者ながら、必要に迫られるのか、仕事に精を出し、絨緞、錦、刺繍、金銀糸の布をはじめ、④絹や綿を材料とする各種の手工業に従事しており、その製品は国内で使われたり、国外に輸出されたりしています。

これに加えて、金と銀が地上を巡ったのちに、その一部がヒンドゥスターンに来て溜まる様子をご覧下さい。即ち、アメリカ大陸から出て、わがヨーロッパの諸王国に散って行く金銀のうち、一部はさまざまな場所からトルコに運び込まれて、この国から持ち出される商品と引き換えられますし、また別の一部は、スミルナを通してペルシアに移動し、人びとがこの国に来て求める絹と交換されることが分かっております。・・・この⑤トルコやイエーメンやペルシアにとっても、インドの商品が欠かせないため、この国々は、

自国に流れ込んだ金銀の一部を、バーク・エル・マンデブの近くで紅海に臨むモカと、ペルシア湾の行き止まりにあるバスラと、ホルムズに近いゴメロン即ちバンドル・アッバースとに向けて動かさざるを得ず、そこからこの金銀は、船でヒンドゥスターンに運ばれることになります。・・・その一方で、インドから来る船舶は、インド自体のものであれ、オランダ、イギリス、ポルトガルのものであれ、毎年ヒンドゥスターンの商品を、ペゲー、テナッセリム、シャム、セイロン、アチェン、マカッサル、モルディヴ群島、モザンビーク、その他の場所へ運んで行きますが、同時にこれらの場所から多量の金銀を持ち帰り、それがまた、前にお話しした金銀と同じ運命をたどるわけです。⑥日本には金銀の鉱山がありますが、この日本からオランダ人が持ち出す多量の金銀も、その一部は、遅かれ早かれこのヒンドゥスターンに流れ込みます。最後に、ポルトガルから、あるいはフランスから、海を渡って直接ヒンドゥスターンに運ばれる金銀も、おおむね商品に形を変えて戻って来るので、残ったものは、他の金銀と同様、ヒンドゥスターンに留まるのです。

もちろんヒンドゥスターンも、銅やクロブ、ナツメグ、シナモン、象、およびオランダ人によって日本やモルッカ諸島やセイロンやヨーロッパから運ばれる、幾つかの品々を必要としていると言えます。・・・それから、⑦馬が大量に必要であることは、(a)方面から、確実に毎年 2 万 5000 頭以上を受け入れているのも分かりますし、馬といえば更に相当数が、カンダハールを通してペルシアから入って来るほか、エチオピア、アラブ諸国、ペルシアから海路で運ばれ、モカ、バスラ、バンドル・アッバースの港を経由して入って来るものもあります。

(出典：ベルニエ／関美奈子訳『ムガル帝国誌』〔1670 年〕岩波書店、1993 年。なお、一部を省略し、また一部の表現を改めた。)

[D] 徳川家が天下を統一される前のことは、いま論ずるにも及ばない。慶長 6 年以来、外国船が来て商売をしたころについては、まだ定めというものもなかった。そのころは、⑧明国においても万暦のころで、外国との交易を厳重に禁止しているときであったから、こんにちのように中国船が来たわけではない。長崎にはただ西洋の船だけがやってきた。寛永のはじめになって、外国船は長崎に来て商いするように仰せつけられたけれども、オランダ船は、まだ肥前の国平戸に来、寛永の末になって長崎に移ったのである。また大名や商人たちが御朱印状をいただいて外国におもむき、商売をしていたこともあったが、寛永 11 年に停止された。そのころは、外国から来る船の数も、貿易の金額も、決まっていなかった。

貞享 2 年になってはじめて、中国人との貿易の銀額を 6000 貫、オランダ人との貿易の金額を 5 万両に決められ、元禄元年に、中国船の船数を 70 隻に決められた。〔中略〕

中国船の数が決まったので、定められた数以上に來た船は積戻しといって、貿易を許されない。また定まった船数であっても、銀額の定めがあるから、およそ一つの船に積んできた物資は、その価銀 160 貫ばかりのものが貿易を許されて、そのほかのものは、残り荷物などといった。はるばる風浪をしのいできたのに、手をむなしくして帰ることも、また多くの荷物を載せてきて、利益少なくして帰ることも、不本意なので、なんとかして積んできたものを売ることをはかり、・・・年々密貿易が多くなったのである。〔中略〕

御先代のとき、長崎奉行所に命じて、長崎で、貿易のために費やされた金・銀・銅の数をお尋ねになったとき、「慶長 6 年から正保 4 年までの計 46 年間のことはよくわからない。慶安元年から宝永 5 年にいたる計 60 年間に、海外に流出した金は 239 万 7600 両あまり、銀は 37 万 4229 貫あまりである。・・・」と答えた。〔中略〕

試みに、長崎奉行所から書き記して差し出したところを基礎として、慶長以来の計 107 年間に、外国に流出した金銀のおよその数を算定し、また慶長以来、国内で鑄造された金貨・銀貨のおよその数と比較してみると、金は 4 分の 1 が失われ、銀は 4 分の 3 が失われたことになる。だから、今後、金は百年たてばその半分がなくなり、銀は百年以内に、わが国で使用するべきものはなくなってしまう。・・・わが国に産出す

る永久の宝ともいうべきものをむだ使いして、外国から来る、ただ一ときの珍しいもてあそびものと交換し、そうした取引のためにわが国威を落とすようなことは、適当とは思われない。

(出典：新井白石／桑原武夫訳『折りたく柴の記』〔1716 年頃〕中央公論新社，2004 年。なお，一部を省略し，また一部の表現を改めた。)

問 1 (①)について，ここから産出された銀は，スペイン，ポルトガル，オランダを経由して，広く世界に流通し，世界各地の経済・社会に多大な影響を及ぼした。1545 年に発見されて以降，世界の銀生産量のほぼ 6 割にあたる年 250 トンの銀を産出し続けたとされる，現在のボリビアにある(①)の銀山の名を答えなさい。

問 2 下線部②に関連して，アメリカ大陸の銀を掌握したスペインは，香辛料の獲得とカトリック布教を目指して東南アジアに進出し，先行するポルトガルと競合しつつ，フィリピン諸島の領有に成功した。当時，中国商人が運んでくる生糸や陶磁器などの奢侈品を，大型帆船(ガレオン)で太平洋を横断してメキシコのアカプルコまで運び，商品の対価としてメキシコ銀を積載してフィリピンに戻り，これを中国商人が自国の船で中国へ持ち帰っていた。こうしたガレオン交易の拠点で，スペインが 1571 年にルソン島に建設した都市の名を答えなさい。

問 3 (③)の商人は，史料〔B〕の書簡において，神聖ローマ皇帝カール 5 世に対し，皇帝選挙の資金として貸し付けた金額の返済を迫っている。ハプスブルク家の皇帝やスペイン王室に多額の貸付を行なった，この商人が属する一家は，高利貸付やティロルなど南ドイツの銀山経営によって一大国際金融業者に登りつめたが，新大陸銀の流入を原因の一つとする商業革命のなかで次第に没落していった。(③)の商人の家名を答えなさい。

問 4 下線部④に関連して，1522 年ポルトガルはインド東海岸南部のサントメに商館を置き，この地方特産の綿織物を輸出した。のちにオランダ商人によってこの地域から日本にもたらされた縞模様の綿織物は，「棧留(さんとめ)縞」として江戸町人の間で人気を博した。1640 年イギリス東インド会社は，サントメ北方 5km に商館と要塞を築き，その後の植民地支配の拠点の一つとした。ベンガル湾に面したインド南部のこの港町の名を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して，16 世紀を通じてヨーロッパ諸国にとってオスマン朝の存在は大きな脅威であった。1529 年のオスマン軍によるウィーン包囲や 1538 年の海戦でのオスマン海軍への敗北は，神聖ローマ皇帝カール 5 世にとって重い負担となった。その子，スペイン王フェリペ 2 世は，新艦隊を建造するなど，スペイン海軍の増強をはかった結果，1571 年の海戦でついにオスマン海軍を撃破した。しかし，この戦争のために多くの人員と資金を割くことを強いられ，多額の銀が国庫から失われた。この 1571 年の海戦の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥に関連して，当時の日本は，世界有数の銀産出地として名を馳せていた。日本の銀は，明朝やポルトガル商人，オランダ商人との取引によって東アジア内で流通した後，交易圏間のやり取りを通じてインドにまで到達していた。周防の大内氏と博多商人によって開発され，戦国時代から江戸前期にかけて，日本銀の最大の生産地であった銀山(現在の島根県)の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦では、インドに流入した金銀を対価として中央アジアから大量の馬が輸入されていた様子が記述されている。中央アジアは、「シルクロード」という言葉から思い起こされる東西交通路ばかりでなく、インドやロシア方面とを結ぶ南北交通路の要衝にも位置していた。ティムール朝の王子であったバーブルは、シャイバーニー・ハンを首領とするトルコ系遊牧民(a)の攻勢に敗れ、インドに転進して 1526 年にムガル朝を興した。のちにブハラ・ハン国、ヒヴァ・ハン国、コーカンド・ハン国を建てた(a)に入る民族の名を答えなさい。

問 8 下線部⑧に関連して、明は海禁をおこない民間貿易を厳しく取り締まったが、武装した密貿易集団の活動に悩まされ、また北方辺境でも交易を求めて侵入する勢力と対峙した。密貿易集団の妨害をすり抜け朝貢貿易を通して流入した銀は、北方勢力への軍事費に投入された。結局、明は北方には交易場を開設し、海禁もゆるめて民間交易を許さざるをえず、以後、日本銀を含む大量の銀が明に流入することになる。明を苦境に陥れた上記のふたつの外敵を表す言葉を漢字 4 文字で記しなさい。

問 9 上記の史料〔A〕～〔D〕からは、新大陸銀をはじめ、世界の銀山で産出された銀がさまざまな商品と交換されて世界各地に流通していく様子が理解できる。

新大陸の銀がどのような経路をたどってアジアに到達したか、それが世界の交易にどのような影響を与えたのか、400 字以内で説明しなさい。

その際、〔A〕～〔D〕の史料と問 1～8 の設問を参考にし、必要に応じてその解答を用いなさい。また、本問の解答の冒頭で、史料〔A〕の記述をもとに、新大陸の鉱山で生産された銀がスペイン本国に運ばれるまでの具体的な流れを簡潔に説明しなさい。また、以下の語句を必ず使用し、使用した箇所すべてに下線を引きなさい。

黒人奴隷 生糸 ガレオン交易

問 1 ポトシ(銀山)

問 2 マニラ(市)

問 3 フッガー家

問 4 マドラス [チェンナイ]

問 5 レパント(沖)の海戦

問 6 石見銀山

問 7 ウズベク(人、族)

問 8 北虜南倭

問 9 スペイン統治下のペルーでは、鉱山は発見者が自ら登録し、採掘した銀の 5 分の 1 を本国に納め、残りを鉱山経営にあてた。鉱山主は当初採掘にインディオを強制的に動員していたが、人口減で労働力が不足するとアフリカの黒人奴隷をポルトガル商人から購入した。皇帝位の獲得や戦争で巨額の借金を重ねたスペイン王室は、フッガー家などの商人に銀で返済を行なった。こうしてヨーロッパ商人の許に集まった大量の銀は、トルコやインドの商品の購入に、また太平洋を横断するガレオン交易を通じて、生糸や陶磁器などの中国製品の購入にあてられた。石見銀山などで採掘された日本の銀も商品買付の対価としてアジア市場に流れ、インドの銀は馬の対価として中央アジアに及び、中国では税を一括銀納させる税制がしかれた。このように新大陸銀の流通が中国・東南アジア・ヨーロッパ・大西洋の市場を結びつけたことで、銀を決済手段として世界をつなぐ大交易圏が誕生した。

《出典》ホセ・デ・アコスタ(増田義郎訳)「新大陸自然文化史 上」岩波書店(1966)／ヤコブ・フッガー(諸田実訳)「ヤコブ・フッガーよりカール 5 世への手紙」『西洋史料集成』平凡社(1956)／ベルニエ(関美奈子訳)「ムガル帝国誌」岩波書店(1993)／新井白石(桑原武夫訳)「折りたく柴の記」中央公論新社(2004)

今日のファッション(服飾文化)の起源は、20 世紀前半にある。20 世紀初頭のパリではデザイナーが次々と新しいデザインを生み出し、それが量産され、輸出・消費されることで世界的な流行(モード)が形成された。また、アメリカでは、大量消費社会のための大衆服(マスマッション)が誕生し、その生活様式とともに世界に広く普及していった。以下の文章は、20 世紀のファッションが人々の身体や社会とどう関わったかについて論じた著作からの抜粋である。文章を読み、以下の問に答えなさい。

20 世紀はアメリカの世紀といわれている。

アメリカ合衆国は政治や経済において世界をリードしたことはもちろん、生活や文化の分野でも先頭を走り、いわゆる「アメリカ的生活様式」を全ての国々に普及させていった。〔中略〕

大衆消費社会の原動力となったのが大量生産システムであり、これをもっとも効果的に発展させたのがヘンリー・フォードである。自動車はヨーロッパにおいて上流階級の高価な娯楽として発展したが、フォードはアメリカにおけるその可能性を察知して、大衆にも手が届く安価な交通手段として提供しようと考えた。彼は生産システムの徹底的な合理化をおこなうことで、T 型フォードという大衆車をつくりだしたのである。・・・ヨーロッパはアメリカのフォーディズムに熱いまなざしを向けていた。①ウラジミール・レーニンはソヴィエトの労働管理システムをテーラーイズムに基礎づけようと主張したし、またフェルディナンド・ポルシェはナチス・ドイツ体制におけるフォルクスワーゲン量産のためにフォード本人と会見している。コミュニズムもファシズムも大量生産に未来の可能性を見いだそうとしていた。

イタリアの思想家アントニオ・グラムシもまたフォーディズムを礼讃したひとりだ。彼はそこに伝統に縛られた労働者の群れを新しい労働者階級へと再生させるポテンシャルを見ようとした。・・・グラムシは「フォード方式は合理的であり、一般化されるべきだ」と述べている。

20 年代、ヨーロッパの芸術・デザインの世界でもアメリカへの賞賛が高まった。②バウハウスやロシア・アヴァンギャルドはジャズやハリウッドなどの大衆芸術に着目し、それを古い伝統を破壊するモダニズムの文化として評価した。〔中略〕

フォーディズムが主導してきた大衆消費社会は豊かな生活をもたらしたが、これはたえず新しいものを投入して古いものを陳腐にする流行のサイクルに人々をまきこんでいくこととなった。商品は本来の役割や機能よりもデザインの新鮮さによって買い替えられるようになっていく。それは自動車も日用品も全てがファッションとなる社会の到来を告げていたのである。

アメリカンファッションといえはまず想起されるのはジーンズだろう。現在は世界中の老若男女から支持されているジーンズはもともと一部の労働者の作業用ズボンであったが、これが一般に街で着られるような「ファッション」になり始めた時期も 1930 年代であった。

ドイツ移民リーバイ・ストラウスがニューヨークから行商をしながらサンフランシスコにやって来たのは 1853 年。ここでストラウスは総合雑貨商を設立する。・・・彼の客は西部の開拓民や探鉱者だったので、その商品のなかにはテントや幌馬車に使うためのキャンバスが含まれていた。ストラウスはこの丈夫な布地をつかって探鉱者のためのズボンをつくることを思いつく。・・・これがジーンズの原型といわれているが、現在の (a) とはまだ似て非なるものだったようだ。よりジーンズらしくなるためにはもうひとりの立役者、ジェイコブ・デイビスの登場を待たねばならない。

デイビスは 1831 年バルチック海の都市リガに生まれ、56 年にサンフランシスコにやってきた。ストラウスよりも 2 年若く、同じユダヤ系移民である。彼は仕立屋として馬車の幌やテントをつくっており、リーバイ・ストラウス社からオフホワイトのズック地を購入していた。

ある日、デイビスは浮腫を病んだ木こりの妻から夫のために過酷な労働に耐えるズボンをつくるよう依頼を受ける。彼はズック地をつかった大きな作業着を仕立て、たまたま仕事場にあったリベットを前後のポケットに打ちつけた。・・・この丈夫なズボンはロコミで話題となり、デイビスのもとに同じものを求める人々がやってくるようになる。その注文をこなすうちにズック地が足りなくなり、9オンスのブルーデニムを生地として使うようになったのが、いわゆるブルージーンズの始まりであった。

思わぬ反響に気をよくしたデイビスは、アイデアが無断使用されないようにリベット打ちズボンの特許を取ることにしたが、特許取得申請のための費用がない。そこで織物の仕入先のリーバイ・ストラウス社に申請手続きを代行してくれるように持ちかけた。・・・リーバイ・ストラウス社はこれに同意し、1873年5月にリベット打ちポケットの特許を取得したのであった。同社はデイビスを製造担当として迎え、工場を準備して本格的な生産体制を整えることにしたのである。〔中略〕

(a)のジーンズがより広い層にファッションとして受け入れられていくのも大衆消費社会の成立と深く関係していた。

そのきっかけのひとつは③ハリウッド映画である。1930年にはB級西部劇が年間100本以上も製作されるようになっており、そこにジーンズ姿のカウボーイたちが描かれていたせいで、西部開拓という伝統との結びつきが印象づけられたのだ。・・・この時期、ジーンズは耐久性だけがとりえの作業着から西部開拓神話という付加価値のついたファッションになった。大自然に生きる寡黙なカウボーイはアメリカのひとつの英雄像である。④(a)をはくことはこうしたイメージを消費することになったのだ。〔中略〕

1930年代以降、ニューヨークの服飾産業は自国のデザイナーに注目しはじめる。・・・背景には、パリモードの輸入が困難になっていく社会状況があった。とりわけ29年の⑤世界恐慌によって不況になり、保護政策のために輸入関税が高くなったこと、さらに40年ナチス・ドイツによるパリ占領によりフランスとの交流が途絶えてしまったことは大きい。・・・パリを失った服飾産業は自国のデザイナーを売り出す必要に迫られたのである。

この時期に脚光を浴びたデザイナーにクレア・マッカーデルがいる。・・・彼女が最初に放ったヒット商品は「モナスティックドレス」(1938年)である。これはダーツやウエストラインのない筒状のドレスで、ウエストをベルトでとめて着用するというデザインだった。・・・シンプルで快適な着心地のこのドレスは人気を呼び、大量に模倣されることになる。〔中略〕

アメリカが第二次世界大戦に参戦すると、第一次大戦と同じく⑥女性たちは労働力としてかり出され、服装はさらに活動的な方向へと進んでいく。物資不足から布地や副資材が不足するなかで、マッカーデルはデニムやジャージーなどの労働用の素材に可能性を見いだして積極的に使っている。・・・それ以外にもマッカーデルはダイパードレス、ベイビードールドレス、一枚布のジャンプスーツ、レオタードスーツのような新しいデザインを発表している。これは若々しいからだを念頭においたスポーティなカジュアルウェアであった。・・・マッカーデルの独創性はデザインだけではない。彼女のファッションは限られた上流階級を対象とした仕立服ではなく、都市の中産階級に向けた既製服である。それは工場生産を念頭において効率を考えたりコスト意識を持ったりする必要のある分野だった。マッカーデルにとっては戦時中の物資制限も創作の障壁ではなく、最小限の素材から衣服を組み立てるための挑戦となったのである。〔中略〕

大量生産、活動性、シンプルさ—こうした特徴をそなえたアメリカンファッションが誕生したのは、クレア・マッカーデルをはじめとする多くのファッション業界の人々がアメリカのアイデンティティを意識的に構築しようとしたからである。しかしこの時期にそれが模索されたのは、当時の国際情勢の状況とも緊密に結びついていた。〔中略〕

⑦アメリカンカジュアルはその後しっかりと根を張り、合衆国が超大国として君臨するとともに、アメリカ的生活様式の一部として世界にひろがっていく。ジーンズ、Tシャツ、スニーカーなどとともにカジュアルウ

エアはあらゆる地域の人々に受け入れられていく。シンプルで活動的な服装はフォーディズムの論理と倫理を身体をとおして体感することにほかならない。この身体性はのちに戦後アメリカの文化支配をとおして世界標準の身体モデルとなっていくのである。

(出典：成実弘至『20 世紀ファッションの文化史一時代をつくった 10 人』河出書房，2007 年。なお，一部を省略し，また一部の表現を改めた。)

問 1 下線部①に関連して，ロシア革命後の 1918－1921 年初頭に，ロシアのソヴィエト政権は，工業を国有化し，労働力を管理する一方，農民にノルマを課し，農産物を強制的に徴発する政策を取った。ロシア革命後の内乱と干渉戦争に対処し，急速な共産主義化を目指したこの政策の名を答えなさい。

問 2 下線部②に関連して，1920 年代のパリでは，美術や音楽，文学，建築といった分野において前衛的な芸術運動(アヴァンギャルド)が花開き，服飾では，クリスチャン・ディオールやココ・シャネルが上流階級向けに高級仕立服(オートクチュール)の斬新なデザインを提案していた。彼らのなかには，自らアメリカを訪問し，アメリカの大衆文化を目の当たりにするなかで，この「新しいモダニズム文化」から多くを学びとる者も多かった。ニューヨークの高層建築を賞賛し，後に上野の国立西洋美術館を設計した，「近代建築の父」と呼ばれるスイス生まれの建築家の名を答えなさい。

問 3 下線部③に関連して，ハリウッドなどの 20 世紀の映画音楽は，ドイツ語圏出身の様々なユダヤ系亡命音楽家によって支えられた。第一次世界大戦後のドイツのリベラルな風潮のなかで，音楽家たちは，映画をはじめとする新たなメディアを積極的に受容し，クラシック音楽に新しいメディアの技術を取り入れていた。彼らは映画のための音楽，芸術としての映画音楽を追求していたが，1933 年にドイツの共和制国家がナチスの台頭によって終焉を迎えると，アメリカ亡命の道を選んだのである。第一次世界大戦後のドイツに成立したこの共和制国家の名を答えなさい。

問 4 下線部④に関連して，20 世紀初頭にはリーバイ・ストラウス社のほかにも H. D. リー・マーカンタイル社など多くのデニム製労働服メーカーが競合し，互いに差異化をはかるなかで，消費社会には不可欠のブランド戦略という考え方が生まれた。1930 年代，西部劇の流行にともない観光客向けに乗馬やキャンプ体験を提供する牧場が現れると，リーバイ・ストラウス社はそのコスチュームとして女性用のジーンズを売り出し，ジーンズのファッション化に一役買うとともに，カウボーイとジーンズを結びつけた宣伝によって知名度を上げていった。(a)に入る世界で最も古いとされるジーンズのブランド名を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して，1929 年 10 月のニューヨーク株式取引所における株価暴落以降，アメリカ経済は急激に悪化した。経済の立て直しを図るアメリカがドイツをはじめとする海外各国から資本を引き上げたことにより，恐慌は世界規模に拡大した。このとき，植民地を持つ国々は，本国と植民地の間で経済圏を形成し，高い関税をかけて圏外からの輸入を抑制することで自国の経済を保護した。フランスもまた，海外の植民地を囲い込んで独自の経済圏を形成した。このフランスの排他的経済圏の名を，当時用いられていた通貨の名称を用いて答えなさい。

問 6 下線部⑥に関連して，女性解放の動きのなかで，新奇な服装に身を包んだ「モダンガール」が現れる一方で，二つの世界大戦は，既製の労働服を着る女性労働者を大量に生み出した。女性たちは，まずは福祉，食糧配給，繊維業などの生産活動に動員されたが，戦争が長期化すると，男性の仕事とされていた武器製造

などの重工業部門にも動員されるようになった。このように、軍事だけでなく、それを支える国民生活のあらゆる部門に、男女を問わず、国民が動員される戦争のあり方を何というか。その名を答えなさい。

問 7 下線部⑦に関連して、「アメリカ的生活様式」は 1920 年代から 30 年代にかけてのアメリカ社会の繁栄のなかから生まれたものであるが、このアメリカの繁栄がもたらされた経緯とその後の社会の変化について 100 字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。

第一次世界大戦 フォード 移民法

問 1 戦時共産主義

問 2 ル・コルビュジエ

問 3 ワイマール[ヴァイマール、ドイツ]共和国

問 4 リーバ[ヴァ]イス

問 5 フラン・ブロック

問 6 総力戦(体制)

問 7 アメリカは第一次世界大戦による戦争特需で経済発展し、1920 年代にはフォードの大衆車に象徴される大量生産、大量消費の豊かな社会を築いた。他方非 WASP 系移民を制限する移民法が成立するなど不寛容な面も表面化した。

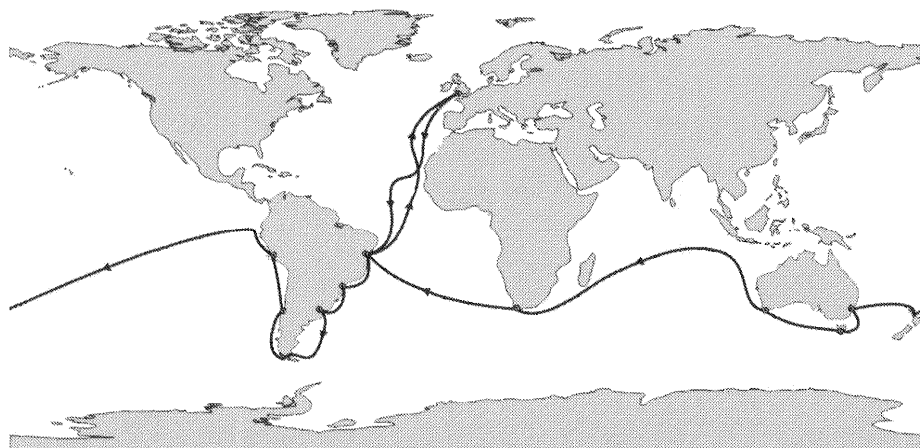
《出典》成実弘至「20 世紀ファッションの文化史 時代をつくった 10 人」河出書房新社(2007)

【15】2015 東京外国語大学

1822 年、ラテンアメリカのある国が、ポルトガルからの独立を宣言した。次の史料〔A〕は、イギリスがその独立を承認すべきか否かという問題について、外務大臣カニングが閣議のために記した覚書の一部である。

その 9 年後の 1831 年、フィッツロイが艦長をつとめるビーグル号は、ダーウィンをのせて探険航海に出発し、約 5 年間におよぶ航海の途中でこの国に立ち寄った。史料〔B〕と史料〔C〕は、それぞれフィッツロイとダーウィンが書いた航海記から、この国に関する記述を抜粋したものである。

これら〔A〕，〔B〕，〔C〕の史料をよく読んで、以下の問に答えなさい。なお、下の図は、ビーグル号の航海図(概略)である。



〔A〕

(①)は、合法的奴隷貿易の一大中心地です。かの国に存続する合法的奴隷貿易を隠れ蓑に、条約と法に反するあらゆる奴隷貿易が行われています。(①)が自ら奴隷貿易を廃止しなければ、奴隷貿易を根絶する

ことはできないのです。しかし、諸々の事情により、奴隷貿易全廃の可能性が見えてきました。千載一遇のチャンスです。〔中略〕(①)は、今まさに動揺しています。それは、イギリスの決断が(①)独立の成否を左右すると考えられるからです。しかし、もし、我々が判断を遅らせ、②オーストリア皇帝が娘の要請に応えることになったら、あるいは、フランスが奴隷貿易の存続を支持し、それを支援することになったら、イギリスが独立を認めるかわりに、(①)は奴隷貿易を廃止するという我々の提案は、時宜を失ってしまいます。〔中略〕③西インド植民地を救う方法は、奴隷貿易を全廃することであり、それは(①)に奴隷貿易を廃止させることによってしか達成できないのです。

(A. G. Stapleton, *The Political Life of the Right Honourable George Canning*, 1831. および Leslie Bethell, *The Abolition of the *****Slave Trade*, 1970. 表題を一部伏せた。)

〔B〕

ポルトガルから分離したバイーアは、衰退の一途を辿っています。不安定な政府は弱体化し、絶えまない党派抗争にあけくれてきました。失政が続く、真の意味で国を進歩させるという課題は置き去りにされたままなのです。④相次ぐ革命と黒人蜂起によって、交易が妨げられ、この豊かで美しい国は疲弊してしまいました。今またそうした動乱が、起きようとしているのです。〔中略〕

(①)人は、自分たちの置かれた状況をはっきりと理解することができるでしょうか。利己的な行動に走る人々を、一致団結して非難することができるでしょうか。そして、自国の奴隷を解放するだけでなく、奴隷の輸入を断固として防ぐことができるでしょうか。もし、それができるのなら、(①)は繁栄の途を歩み始め、人口はどこまでも増えていくことになるでしょう。⑤広大で肥沃な土地をもつ(①)では、そうなっても人々が困窮することはないはずです。食料は十分にあります。温暖な気候のため、必要最低限の衣類を調達することも難しくありません。

(①)において奴隷制度が存続しているのは、人口が不足しているからです。もちろん、それだけが奴隷制度の原因というわけではありませんが、やはり、原生林を切り開き、土を耕し、炎天下で働き、サトウキビや綿花やキャッサバなど、熱帯気候の農作物を育てることができる、勤勉な人々が不足しているのです。

人口不足を解消するのは非常に困難なため、(①)などでは、自分のことしか考えない、行き当たりばったりの大地主が、不運にみまわれた人々を、何百人、何千人と連行してくるのです。彼らは、ひとたび陸に上がれば、地主の金儲けに使われる哀れな道具となるほかはないのです。どんなに多くの船を集めても、⑥両大陸の海岸線を閉鎖することなど、到底不可能です。

(Robert FitzRoy, *Narrative of the Surveying Voyages of his Majesty's Ships Adventure and Beagle*, 1839.)

〔C〕

8月19日、わたしたちはようやく(①)の岸を去ることができました。もう、二度と決して、わたしが奴隷の国を訪れることはないでしょう。今になっても、遠くから悲鳴が聞こえてくると、ベルナンブコの近くの家で通りすがりに聞いた、このうえなく哀れなうめき声を鮮明に思い出し、心が痛みます。きっとある不幸な奴隷が拷問にかけられていたはずです。しかし、わたしは子どものように無力で、いさめることさえできませんでした。〔中略〕聞けば心がはりさけそうになる残虐な話を、わたしはいくつも耳にしてきました。それらは信憑性のあるものです。しかし、ひとつひとつの話を記述するつもりはありません。上記のような不愉快な話も、奴隷制は必要悪だと主張する人々に、何度か出会うことがなければ、ここでこうして紹介することも

なかったでしょう。そのような人々は、黒人の生来の明るさに目を奪われて、何も見えていないのです。かれらは上流階級の邸宅を訪問するわけですが、上流階級の家内奴隷の待遇はまずまずのものです。かれらは、わたしのように入層階級の人々と暮らしたことなどありません。そして、かれらは奴隷の地位や待遇について、奴隷自身に尋ねるでしょう。しかし、答えた内容が主人の耳に届くかもしれないと考えることのできない愚鈍な奴隷など、いるはずがありません。そんな当たり前のことが、尋ねる人間の頭からは、抜け落ちているのです。

私利私欲のある者は自分の所有する家畜を大切にものだから、そうした人間が奴隷をそこまで酷く虐待することはないと主張する人がいます。もっとも、家畜にくらべれば、貶められた奴隷のほうが、野蛮な主人の怒りをかう可能性ははるかに高いと言えるでしょう。ともかく、この主張に対しては、高尚なる情念によって、はるか以前に異議が唱えられています。その優れた模範を示してくれたのが、永遠に偉大なる⑥フンボルトでした。〔中略〕⑧わたしたちイギリス人と、アメリカに渡ったその末裔とが、高らかに自由を叫びつつも、大いなる罪を犯し、そして今なお、その罪を背負っていることを思うと、わたしの血は煮えたぎり、心が震えてしまいます。しかし、わたしたちは罪をあがなうために、少なくとも、他の国より多くの犠牲を払ってきました。そのことを思い返せば、多少は気持ちが楽になります。

(Charles Darwin, *Journal of Researches into the Natural History and Geology of the Countries visited during the Voyage of H.M.S. Beagle round the World*, 2nd ed., 1845.)

問 1 史料〔A〕が示すように、イギリスは(①)の独立を承認するかわりに、(①)に奴隷貿易を廃止させようとした。そして、1826 年、イギリスと(①)のあいだで奴隷貿易禁止条約が結ばれた。しかし、史料〔B〕と史料〔C〕が示すように、この条約は死文化し、(①)では、1850 年代まで奴隷貿易が存続することになった。(①)の国名を答えなさい。

問 2 下線部②に関連して、オーストリア皇帝フランツ 1 世の娘マリア・レオポルディーネは、(①)皇帝ペドロ 1 世の皇后だった。そのため、スペインから独立したラテンアメリカの新生共和国は、オーストリアを中心とする神聖同盟の再植民地化政策を警戒した。この神聖同盟をオーストリアとともに発足させた国を、すべて答えなさい。

問 3 下線部③に関連して、西インド諸島の一部である(現)ドミニカ国は、1763 年、七年戦争の講和条約により、フランスからイギリスに割譲された。この時、アフリカ西岸における奴隷貿易の拠点のひとつだったセネガルも、イギリスに割譲された(その後 1783 年に、再びフランス領となる)。セネガルをイギリスに割譲した、この条約の名を答えなさい。

問 4 下線部④に関連して、フランス領サン＝ドマングでは、1791 年、黒人奴隷による反乱が勃発し、1804 年の独立宣言、1805 年および 1806 年の憲法制定をへて、「黒人共和国」であるハイチが誕生した。ハイチ独立の情報は、(①)などラテンアメリカ各地へと伝わり、黒人奴隷解放運動が広まったが、それらはすべて弾圧され、失敗に終わった。ハイチ独立運動の指導者として活躍し、1802 年にフランス軍に捕縛され、その後、獄死した人物の名を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して、1798 年、イギリスでは食料生産と人口増加との関係を論じた『人口論』が出版され、その後、多くの知識人に影響をあたえた。探険航海から戻ったダーウィンも『人口論』を読んだこと

で、「自然選択」説の着想を得たと考えられている。この『人口論』の著者を答えなさい。

問 6 下線部⑥に関連して、(①)では 16 世紀半ばに、サトウキビ栽培のプランテーションが開発されたが、労働力が不足したため、アフリカから黒人奴隷が輸入された。それにより、アフリカには奴隷の供給源として、いくつかの黒人国が隆盛した。そのうち、おもにポルトガル商人を介して(①)に奴隷を供給し、現在のナイジェリアの地に栄えた国の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦に関連して、アレクサンダー・フォン・フンボルトは、18 世紀末から 19 世紀初頭にかけてラテンアメリカを探検した、著名な探検家・博物学者である。啓蒙期のヨーロッパ諸国は、太平洋諸島や南米大陸などに関する正確な情報を集めるため、科学的な探検事業を組織した。こうした探検航海の先駆者として、ニュージーランドやオーストラリア大陸東岸の調査を行い、ハワイで島民に殺されたイギリス人探検家の名を答えなさい。

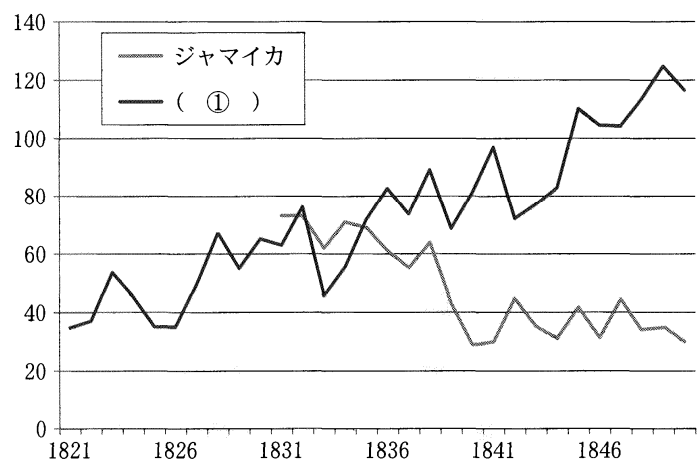
問 8 下線部⑧に関連して、イギリスでは奴隷制廃止運動の高まりを受けて、1807 年に奴隷貿易が廃止された。1833 年には、イギリス帝国における奴隷制度が廃止され、奴隷所有者のプランターには多額の賠償金が支払われた。同じ頃のアメリカ合衆国では、南部諸州において、黒人奴隷を使用した綿花栽培が盛んに行われていた。奴隷制を擁護する南部のなかの 11 州は、その後、合衆国を離脱してリンカーンによる連邦政府への攻撃を開始し、ここに南北戦争が勃発した。このとき、南部 11 州が結成した国の名を答えなさい。

問 9 上記の史料〔A〕〔B〕〔C〕からは、イギリスがポルトガルに奴隷制度を廃止させようとした背景には、人道主義の理念だけではなく、経済的な利害関心があったことがわかる。とくに後者に関しては、砂糖生産をめぐる国際競争があったことが示唆されている。下のグラフが示すように、(①)の砂糖輸出が拡大する一方、英領西インド諸島における砂糖生産は衰退傾向にあった。

このような事情をふまえたうえで、史料〔A〕において、カニングが(①)の独立を認めようとしながら、(①)による奴隷貿易の廃止を訴えた理由を、ウィーン体制発足後の国際関係に言及しつつ、400 字以内で説明しなさい。その際、〔A〕～〔C〕の史料と問 1～8 の設問を参考にしなさい。また、以下の語句を必ず使用すること。

メッテルニヒ モンロー
(これらの語を使用した箇所全てに
下線を引くこと)

安価な労働力 1807 年 工業製品



ジャマイカと(①)の砂糖の輸出货量(単位 1,000 トン)

(出典：B. R. ミッチェル編『マクミラン世界歴史統計 3—南北アメリカ・大洋州篇』原書房 1984 年。)

問 1 ブラジル

問 3 パリ条約

問 5 マルサス

問 7 クック

問 2 ロシア, プロイセン

問 4 トゥサン・ルヴェルチュール

問 6 ベニン(王国)

問 8 アメリカ連合国

問 9 ウィーン体制発足後, ラテンアメリカの植民地では独立運動が高まり, アルゼンチンなど十数カ国が相次いで独立した。神聖同盟を主導するメッテルニヒは, ラテンアメリカの再植民地化を目論んだが, アメリカ合衆国はモンロー宣言により, ヨーロッパ諸国と西半球との相互不干渉の立場をとった。一方, カニングは, ラテンアメリカを自国の工業製品の市場として開拓するために, 独立を容認した。ブラジルの独立については, カニングは奴隷貿易の廃止を条件に, それを承認しようとした。砂糖を主要な輸出品とする英領西インド諸島は, 1807 年の奴隷貿易廃止などによって打撃を受けたが, ブラジルは黒人奴隷を安価な労働力として用いて砂糖生産の規模を拡大させていった。そこで, カニングはブラジルに奴隷貿易を廃止させ, 安価な労働力の供給源を絶つことで, 砂糖生産において劣勢に置かれた西インド諸島の植民地を救うことができると訴えたのである。

《出典》Leslie Bethell “The Abolition of the Brazilian Slave Trade”(1970)/A.G.Stapleton “The Political Life of the Right Honourable George Canning”(1831)／Robert FitzRoy “Narrative of the Surveying Voyages of his Majesty’s Ships Adventure and Beagle”(1839)...

【16】2015 東京外国語大学

1970 年代以降, 女性運動の歴史に関する研究が本格化し, アジアにおけるナショナリズム運動とフェミニズム運動との緊密な関係性と, 同時に, 両者のあいだの矛盾が明らかにされつつある。以下の文章は, そうした研究潮流の初期に位置づけられる著作の一部である。文章を読み, 以下の問に答えなさい。

(著作権処理の都合により省略)

《出典》クマーリ・ジャヤワルダネ 『近代アジアのフェミニズムとナショナリズム』 中村平治監修, 新水社, 2006 年

問 1 下線部①「遣欧使節団」に関連して, 幕末から明治初めにかけて外交交渉と海外視察などを目的としたいくつかの使節団が欧米諸国に派遣された。1871 年に出発した岩倉使節団には数十名の留学生も同行したが, この時 5 人の女子留学生の最年少者として米国に留学し, のちに女子英学塾を設立して日本の女子教育の先駆者となった人物の名を答えなさい。

問 2 (②)の人物は, 小説などでスペインの植民地支配を批判するとともに, フィリピン人はスペイン人支配者と知的, 道徳的に同等であるという見解を持ち, 女子教育に関しても, その必要性を主張した。1892 年にフィリピン同盟を結成した, この民族運動家の名を答えなさい。

問 3 下線部③「1919 年にはエジプト女性たちが『新女性協会』を創設し」に関連して, 第一次大戦勃発以降イギリスが保護国としたエジプトでは, 大戦後に大規模な独立運動が起こった(1919 年革命)。その際, 運動の主体となった民族主義政党党員の妻らもデモを組織し, 女性の政治運動参加への契機となった。この政党の名を答えなさい。

問 4 下線部④「インド大反乱時におけるインド中央部のジャーンスー藩王国の女王であって、1857 年の対英独立戦争の際、彼女は騎兵戦で軍隊を率いてイギリス軍に挑戦した」に関連して、ジャーンスー藩王国王妃ラクシュミー・バーイー(図 1)は軍隊を組織してイギリス軍と戦い、のちに国民的英雄として広く敬愛された。一方、インドを支配するイギリスは、1837 年に即位した女王のもとでパクス・ブリタニカと呼ばれる繁栄と成熟の時代を迎えていた。同女王の家族の様子を描いた肖像画(図 2)は、この時代の理想的な家庭像をイギリス国民に提供した。

インド大反乱の結果を受けて、イギリスのインド統治はどのように変化していったか。以下の 3 つの語句と図 2 の女王の名を用い、100 字以内で説明しなさい。

東インド会社 ムガル皇帝 インド帝国
(これらの語を使用した箇所全てに下線を引くこと)

図 1



図 2



問 5 (⑤)の人物は、ノルウェー出身の劇作家・詩人であり、人道主義の立場から社会問題をあつかった。代表作のひとつである『人形の家』の女主人公ノラが夫と子供を残して家を出るというストーリーは、既存の社会規範をゆるがすものとして、世界各地で議論を呼び起こした。この作家の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥「魯迅」の作家は、中国の伝統教育を受けた最後の世代に属する。彼ら男性が文字や作文を学ぶ大きな契機の一つでありつづけ、女性の文化的・政治的社会進出を阻むことにもなった伝統的な官吏登用試験の名を答えなさい。

問 7 (⑦)に関連して、インドのナショナリストたちは、古代には幼児婚もなく、女性にも男性と同様の教育の機会があったとしばしば主張した。(⑦)にはいるインド最古の文献群の総称を答えなさい。

問 1 津田梅子 問 2 ホセ・リサール 問 3 ワフド党

問 4 イギリスはインド大反乱を鎮圧すると、それまでインド統治を担っていた東インド会社を解散し、ムガル皇帝を廃位してインドの直接統治を開始し、のちにヴィクトリア女王をインド皇帝とするインド帝国を創建した。

問 5 イプセン 問 6 科举 問 7 ヴェーダ

《出典》クマーリ・ジャヤワルダネ「近代アジアのフェミニズムとナショナリズム」新水社(2006)

【17】2014 東京外国語大学

次の〔A〕～〔E〕の文章は、『ペルシア旅行記』で知られるフランス人宝石商シャルダンが、17世紀後半、イラン高原のある都市について著した書物から抜粋したものである。この文章をよく読んで、以下の問に答えなさい。

(著作権処理の都合により〔A〕～〔E〕省略)

《出典》 羽田正編著 『シャルダン「イスファハーン誌」研究』 東京大学出版会、1996年

問1 (①)は、この当時、人口50万を数え、世界でもっとも繁栄した都市の一つである。(①)の都市の名と、この時代にこの都市を首都とした王朝の名を答えなさい。

問2 下線部②「キリスト教徒、ユダヤ教徒、マホメット(イスラーム)教徒、異教徒、拝火(ゾロアスター)教徒と言ったあらゆる宗教を信仰する住民がいる」に関連して、この都市はこの時代、ペルシア語を中心としながらも、アラビア語やトルコ語など、複数の言語が使用される多言語社会であった。一方で、シャルダンの祖国フランスでは、ルイ14世の治世中にフランス語がヨーロッパの国際語としての地位を獲得していった。フランス語の統一・純化に重要な役割を果たした、宰相リシュリューによって創設された組織の名を答えなさい。

問3 (③)に関連して、イスラーム世界では、アラブのマムルークなど、奴隷軍人制度が古くから知られていた。14世紀以降、バルカン半島のキリスト教徒の農民子弟を徴集することで確立され、この頃にはトルコ化・世襲化も始まっていたオスマン朝の奴隷軍人からなる常備軍の名を答えなさい。

問4 下線部④「非常に精巧な磁器が焼かれ、日本や中国製だといってもとおるほどである」に関連して、宋代以降に窯業都市として発展し、この時代には海外輸出向けの高価な陶磁器も生産していた中国江西省北東部の都市の名を答えなさい。

問5 下線部⑤について、この頃、この都市に居住するインド人の数が増加したが、その多くはヒンドゥー教徒の商人や金融業者であった。当時、これらインド人の出身地であるインドのムスリム王朝の皇帝の位にあり、王朝の最大版図を実現する一方、ジズヤの復活など、イスラーム的な政策を進めた人物の名を答えなさい。

問6 下線部⑥「サンジェリエ・モスク」に関連して、この都市の「王の広場」には、「王のモスク」をはじめとする壮麗な建造物が建てられていた。隣接するオスマン朝でも、スレイマニエ・モスクをはじめとする大建造物が君主の主導で建設されており、この時代のイスラーム建築の隆盛ぶりがうかがえる。この頃、インドの皇帝が亡き妃の墓廟として、広くイスラーム世界から優れた建築家・職人を集めて建てさせた、インド＝イスラーム建築を代表する建造物の名を答えなさい。

問7 下線部⑦「オランダ会社の商館」の会社とは、1602年に創設されたオランダ東インド会社のことである。オランダは、ポルトガルやイギリスと競合しつつ、アジアでの貿易の拡大をもくろみ、日本、東南アジア、インド、ペルシア湾の海港都市に次々と商館を置いた。オランダ東インド会社が東南アジア地域について貿易の独占を試みた商品の名を答えなさい。

問 8 下線部⑧「そんなことを言えば、ペルシア人の良識にあまりに激しい衝撃を与えるだろうし、自分たちが伝道するためにやってきた宗教が馬鹿げた、矛盾に満ちたものに見られたくないのである」から読み取ることができるように、シャルダンが教皇率いるカトリックに対し、厳しい批判の目を向けている。シャルダンはパリに戻った 1680 年からほどなく、イギリスへの亡命を余儀なくされる。こうした点を踏まえ、シャルダンの属した宗派は何だと考えられるか。その宗派の名を答えなさい。

問 9 17 世紀後半にシャルダンが書いたこの文章は、西アジアから南アジアにかけて、共通の特徴をいくつか備えた広域国家が台頭し、その一方でヨーロッパ諸国がインド洋海域、アジア諸地域の貿易に乗り出す、「世界の一体化」の進展を背景としている。シャルダンが記述するこの都市(①)の繁栄の世界史的な背景について、以下の語句を必ず使用し、400 字以内で説明しなさい。その際、シャルダンの記述、問 1～8 の設問を参考にしなさい。

ムスリム国家 東インド会社 商品 銀
修道会

(これらの語を使用した箇所すべてに下線を引くこと)

問 1 イスファハーン、サファヴィー朝

問 2 アカデミー・フランセーズ

問 3 イェニチェリ

問 4 景德鎮

問 5 アウラングゼーブ(帝)

問 6 タージ=マハール

問 7 ユグノー [カルヴァン派]

問 8 香辛料

問 9 この頃、アナトリアではオスマン朝、イランではサファヴィー朝、インドではムガル朝というムスリム国家が相ついで台頭した。これらの国々は強力な軍隊を用いて領土を広げ、税制・官僚制を整えて確固たる統治基盤を築き、交易や商業の奨励によって繁栄し、壮麗なイスラーム建築など独自の文化を生み出した。ヨーロッパの国々は、16 世紀にポルトガルが、17 世紀に入るとオランダ、イギリス、フランスが東インド会社を設立するなどして、アジア諸地域の貿易に進出した。ヨーロッパは、東南アジアの香辛料、ペルシアの絹、インドのダイヤモンド、中国の陶器などの商品を買い求め、新大陸から流入した銀で対価を支払った。ヨーロッパのアジア進出はまた、カルメン会、アウグスティノ会、イエズス会などの修道会による布教活動を伴っていた。イスファハーンの繁栄は、君主がこうした交易活動を奨励し、多くの外国商人を受け入れたことによるものであった。

【18】2014 東京外国語大学

次の文章は、アメリカ人研究者が「東南アジア」の起源について論じた文章からの抜粋である。これを読んで、以下の問に答えなさい。

(著作権処理の都合により省略)

《出典》 ベネディクト・アンダーソン著、糟谷啓介、高地薫ほか訳 『比較の亡霊 ナショナリズム・東南アジア・世界』 作品社、2005 年

問 1 下線部①「ヒロヒトの軍隊が、英領ビルマから旧スペイン領の米領フィリピンにいたるまでの全地域を

事実上支配した」について、日本軍は太平洋戦争初期から東南アジア地域の大部分を次々と占領し、支配下に置いた。この日本軍の東南アジア地域侵攻の経緯と、それに対する現地の人々の対応について 100 字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。

「大東亜共栄圏」

抗日ゲリラ

スカルノ

問 2 下線部②「マラヤ」に関連して、現在、マレーシアでは全人口の約 4 分の 1 を華人系が、約 7% をインド系の人々が占めている。彼らのルーツは、おもにイギリス植民地時代の労働移民であるが、ある天然資源の採掘に華人系の人々の多くが労働力として従事した。この天然資源の名を答えなさい。

問 3 空欄③～⑥に当てはまるヨーロッパの帝国主義列強の国名を答えなさい。

問 4 下線部⑦「メルカトル伝来の地図作製法」に関連して、明時代の中国に來航したイエズス会キリスト教宣教師によって作製された漢訳版世界地図で、同時代の日本にも輸入され、当時の日本人の世界観にも影響を与えた地図の名を答えなさい。

問 5 下線部⑧「何世紀にもわたって中国とヴェトナムの間でつづいていた相互の共生関係までもが消し去られたのである」について、ヴェトナムは伝統的に中国に朝貢をおこない、中国の冊封体制に組み込まれてきたが、清仏戦争によりヴェトナムと中国の朝貢・冊封関係は終わりを遂げた。この清仏戦争を終結させた講和条約の名を答えなさい。

問 6 下線部⑨「1898 年に自由フィリピン共和国を打ち立てたが、すぐさまアメリカにたたきつぶされた」にある「アメリカにたたきつぶされた」とは、アメリカによるフィリピンの植民地化を意味している。このような状況をもたらした 1898 年の戦争は、もともとカリブ海のある島のスペインからの独立運動を支援するという目的を掲げてアメリカが戦争に介入したものだった。このカリブ海に浮かぶ旧スペイン領の島の名を答えなさい。

問 7 下線部⑩に関連して、第二次世界大戦後、新しい世界秩序の中で東西対立による冷戦が始まり、ついには両陣営が戦火を交える事態にまで至った。「アジアでの冷戦の幕開け」の出来事の一つとして、1950 年に勃発した戦争の名を答えなさい。

問 1 植民地支配からの解放をうたう「大東亜共栄圏」建設を掲げ、現地住民の戦争協力を期待した日本軍に対し、スカルノら独立を目指す民族主義者は対日協力をを行い、一方でフィリピンやヴェトナムでは抗日ゲリラが現れた。

問 2 錫 [スズ, すず]

問 3 ③, ④ ポルトガル, スペイン (順不同)

⑤ オランダ

⑥ フランス

問 4 坤輿万国全図

問 5 天津条約

問 6 キューバ(島)

問 7 朝鮮戦争

《出典》ベネディクト・アンダーソン(糟谷啓介・高地薫 ほか訳)『比較の亡霊 ナショナリズム・東南アジア・世界』作品社(2005)

【19】2013 東京外国語大学

次の資料は、フランチšek・パラツキー(1798－1876)が、1848年の三月革命勃発後、ドイツ統一を話し合うための国民会議の準備に招聘されたときに、それを拒絶した手紙である。パラツキーは、チェコの歴史家で、19世紀のチェコ民族運動の指導者であり、のちに「チェコ民族の父」と呼ばれることになった。この手紙を読んで、以下の問に答えなさい。

50人委員会・ゾイロン委員長あて

4月6日づけの手紙を郵便で、ちょうど受け取りました。ドイツ議会をなるべく早急に招集することをめざした賢人たちの会議に参加を求めるべく、私を(①-a)へお招きいただきましたことは、たいへんな名誉であります。ドイツ最高の賢人たちが、私の態度に完全な信頼を変わりなく寄せてくださったことに、うれしい驚きを禁じえません。私に対しては、ドイツ国民の敵である、という不当な非難が繰り返しなされてきましたが、「ドイツの愛国者たち」の会議へ私をご招待くださったことで、このようないいがかりから私を救ってくださるからです。このすばらしい集まりが高い人間性と正義心を示してくださったことに、心からの感謝の念を表します。まさにそれだからこそ私は、完全な信頼をもって、率直に、包み隠さず、お返事をしなければならぬと考えます。

皆さんの呼びかけを、私は、みずから受け入れることもできなければ、誰かほかの「しかるべき愛国者」を代理として送ることもできません。そのように決心した理由をできるだけ簡潔に述べることをお許してください。

皆さんの集まりの目的は、従来の「②君主の連合」に代えて、「ドイツ人民の連合」を結成することにある、と表明されています。ドイツ国民に真の統一をもたらし、ドイツの国民的心情を発揚させ、内にも外にもドイツの力を高めていこうというのであります。こうした努力やその底にある心情を私は尊重しますが、いや尊重するからこそ、そこに参加することはできません。私はドイツ人ではないし、少なくともそのようには感じていません。皆さんは、意見も意志ももたないイエスマンをお招きになりたいわけではないでしょう。

もし(①-a)へ行くとしたら、私は自分の信条を否定して、調子をあわせるか、そうでなければ、しかるべき機会に大きな声をあげて異議を唱えなければならないでしょう。調子を合わせるには、私は正直で率直すぎますし、異議をとねえるほど厚かましく、周りが見えないわけでもありません。つまり、不協和音をもって調和を乱すのは私の心に反するのです。調和を望ましく、よろこばしいものに思うのは、自分の家のことだけではありません。隣人のところでも同じことです。

私はスラヴ系のボヘミア(ベーメン)人で、微力ではありますが、わが国民のために全身をささげてきました。この国民は小さくはありますが、ずっと昔から独自のものとして存在してきました。その君主は、数世紀来、ドイツ諸侯と結びついてきましたが、国民自体は、ドイツ国民とみずからみなしたことはありませんでしたし、この何世紀ものあいだずっと、他からもまた、ドイツ国民とみなされたことはありませんでした。この事實は、③ドイツの歴史家であれば、私同様にご存知のことでしょう。もし疑われるなら、曇りなく説得してみせましょう。ボヘミア(ベーメン)とドイツとの従来のつながりは、君主と君主のつながりに過ぎず、国民と国民のつながりと理解することも、そのようにみなすこともできないのであります。にもかかわらず、ボヘミア(ベーメン)国民そのものをドイツ国民に結びつけよう、ということがいま求められているのです。だとするならば、それは少なくとも新しい、歴史的な法的根拠を欠いた要求なのであって、私自身は、はっきりした完全な委任をわが国民から受けない限り、これに返答する資格があるとは思えないのです。

私が皆さんの会合に参加できない第二の理由は、皆さんが、オーストリアを取り返しのつかないぐらい弱体化させること、それどころか独立した帝国としての存立を不可能にすることをお望みだからです。それは、皆さんの目的と意見から明らかでしょう。オーストリアの保全、その一体性を保つこと、それを強国としておくことは、わが国民の問題であるばかりでなく、ヨーロッパ全体にとって、さらには人道そのもの、文明そのもの

のにとって重要なことであり、重要なことであらざるをえないのです。この点について、簡単ではありますが、私のことばに耳を傾けていただきたいと思います。

どのような大国が、ヨーロッパ東部の広大な地域を占めているのか、ご存知のことと思います。この大国は、もうすでに巨大な大きさに達していますが、さらに内側から膨張し続け、十年を経るごとに、西側の国々では考えられないぐらいの勢いで強くなり、発展しています。この大国の内奥には攻め込むことも、達することもできず、もう以前から外部に対して脅威となっているのです。この国は北でも攻撃的ですが、まずその本能に導かれて、④南へ拡大しようとしていますし、今後もそうでしょう。この国がさらにこのような道を進んでいくならば、ひとつの新たな世界帝国が出現する恐れも遠いことではありません。それは想像もつかないような、名づけようもないような災いであり、際限のない破局であり、私は人道のために深く嘆くべきことだと考えます。私は身も心もスラヴ人ではありますが、この国がみずからをスラヴの国と称するとしても、それにかわりはありません。私がドイツでドイツの敵といわれるのが不当であるのと同じように、私はロシアで多くの年からロシアの敵といわれ、そのようにみなされています。そうではないのです。私は大声で、率直にいいます、私はロシアの敵ではないのです。その逆です。私は、⑤この偉大な国民が、自然国境の内側で、文明化への道を一步一步前進していくのを、注意深く、共感を持って、追ってまいりました。私は、わが民族を熱く愛してはおりますが、人道と科学は、私にとって、民族の独自性より重要なものなのです。それゆえに、ロシアが世界帝国になるかもしれない、というだけでも、それに対して私以上に反対し、戦おうという者はいないでしょう。それがロシアだからではありません。それが世界帝国になるかもしれないからなのです。

起源も、言語も、歴史も、慣習も非常に異なった多くの諸民族が、ヨーロッパの南東部、ロシア帝国の国境にそって、居住していることはご存知でしょう。スラヴ人、ルーマニア人、マジヤール人、ドイツ人たちであり、ギリシャ人、トルコ人、アルバニア人については言うにおよびません。このうちのひとつとして、はるかに強大な東方の隣人に対して、将来にわたり、単独でずっと抵抗を続けていけるような力をもったものではありません。それができるのは、一つの連合のもとに強固に団結してたがいに統合されている場合だけなのです。こうした諸民族の連合は不可欠であり、その生命線はドナウです。したがってこの連合がそもそも意味のあるものであろうとするならば、その権力の中心はドナウから遠く離れてはなりません。たとえ、オーストリア帝国がこの世になかったとしても、ヨーロッパ、そして人道のためを考えるならば、すぐにでもそれを創りあげなければならないくらいなのです。

⑥オーストリアは、その本性からして、そして歴史からして、あらゆるアジア的要素に対するヨーロッパの盾であり、抛り所となることを神に命じられています。そのオーストリアがなぜ、危機的瞬間にあって、嵐のなかに翻弄され、平静を失い、途方にくれているのでしょうか。それは、オーストリアが不幸にも分別を失い、もうずっと以前から、その存在自体の法的、道徳的基盤をみずから見失い、否認しているからなのです。見失ったものとは、オーストリアの下に統合されているすべての諸民族、すべての信仰を同じように尊重し、同じように権利を与えることです。諸民族の権利は、真なる自然権です。この地上にあるどの民族も、自らの利益のために隣人の犠牲を求める権利はありません。また、隣人のために自己を否定し、犠牲となる義務を負うような民族もありません。自然は、支配する民族も、隷属する民族も知りません。多くの諸民族を政治的に統一しようという連合が強く、長続きするためには、どの民族といえども、この連合のために、みずから大切にしているものをたとえ一部でも失うかもしれない、という恐れをいだくようであってはならないのです。その逆に、どの民族も、隣人から不当な干渉を受けたときには、中央権力に守ってもらえる、というたしかな期待をもてなければなりません。したがって、中央権力は、これを守ることができるだけの力をすぐにでも備えなければなりません。難破の危機が迫るとき、オーストリアにとって、こうした正義の原則は、聖なる礎なのであり、それを無条件に、声高く宣言し、現実にもあらゆる場面で強調していくのに、まだ遅すぎる、ということはないと確信しています。ただし、一瞬たりとも猶予はなりません。もう一時たりとも躊躇してはならないの

です。メッテルニヒが失脚したのは、自由の敵だったからばかりではありません。オーストリアのスラヴ諸民族に対して不倶戴天の敵でもあったからであります。

ボヘミア(ベーメン)国境の外を見つめればすぐに、自然からして、歴史からして、(①-a)ではなく、(①-b)にまなざしが向かうのは当然のことです。わが民族の平和と自由、そして権利を保障し、守るのにふさわしく、その使命を負った中心を、(①-b)に求めるのです。この中心が力を持ち、強力であることは、先に述べたように、ボヘミア(ベーメン)の未来のためばかりではないと考えます。⑥もし、ハンガリーが、その本能にしたがって帝国から離脱する、あるいは、ほとんど同じことですが、帝国のもう一つの中心となろうとするならば、それは長きにわたって自由かつ強力であり続けうるものでしょうか。このハンガリーは、国内で諸民族の同権を実現することに関心がないのです。正義であるもののみが、真に自由で強力です。それなのに、皆さんは、その考えるところからして、いまあからさまに、この中心をとりかえしのつかないほど弱めようというばかりか、破壊しようとさえしているのです。ヨーロッパの安寧のために、(①-b)は地方都市の地位に落ち込んではいけません！

(出典 “Eine Stimme über Oesterreichs Anschluss an Deutschland (1848),” in: Franz Palacký, *Denkblätter. Auswahl von Denkschriften, Aufsätzen und Briefen aus den letzten fünfzig Jahren, als Beitrag zur Zeitgeschichte*. Prag, 1874 より抄訳)

問 1 (①-a)と(①-b)に入れるのに適当な都市の名をそれぞれ答えなさい。

問 2 下線部②の「君主の連合」は、1815年に神聖ローマ帝国に代わるものとして結成されたものである。その名を答えなさい。

問 3 下線部③に関連して、パラツキーの同時代人で、史料批判に基づいた近代歴史学の基礎を築いたドイツの歴史家の名を答えなさい。

問 4 下線部④にあるように、18世紀後半、ロシアは南方や東方へ進出を試みた。これにより、ロシアに併合された黒海沿岸の国の名(a)と、日本に使節として派遣された人の名(b)を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して、1861年に、農奴解放を行ったロシア皇帝の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥に関連して、オスマン帝国が、17世紀後半にオーストリアによるハンガリー支配を認めた条約の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦に関連して、1848年革命の際に、ハンガリー王国の独立戦争を指導した人物の名を一人答えなさい。

問 8 資料には、ドナウ沿岸地域の諸民族の自立をめぐるパラツキーの危機意識が表明されている。ドナウ沿岸地域の諸民族の自立の動きは、この後、20世紀初頭までどのように展開し、国際政治にどのような影響を与えたか、400字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、使用した箇所すべてに下線を引きなさい。なお、以下の語句のうち、「ベルリン会議」は、1878年に開催されたものを指す。

第二次バルカン戦争	アウスグライヒ	ベルリン会議
サラエヴォ事件	ブルガリア	

- 問 1 ①ーa フランクフルト ①ーb ウィーン
 問 2 ドイツ連邦 問 3 ランケ
 問 4 a クリム＝ハン国 b ラクスマン
 問 5 アレキサンドル 2 世 問 6 カルロヴィッツ条約
 問 7 コシュート

問 8 (解答例) 1848 年革命以降、ドナウ地域の民族運動はますます活発になった。プロイセンとの戦争に敗れたオーストリア帝国は、自立を求めるハンガリーとの間にアウスグライヒを結んで、大幅な自治を認めた。オスマン帝国内の民族運動にはロシアをはじめとする列強が介入した。露土戦争後、列強はベルリン会議を開き、セルビア、モンテネグロ、ルーマニアに独立を認めて民族運動の要求に応じたが、ブルガリア公国を縮小し、ボスニア＝ヘルツェゴヴィナの施政権をオーストリアに与えるなど、勢力の均衡をはかった。独立した諸国は互いに対立し、第一次バルカン戦争では連合してオスマン帝国と戦ったが、第二次バルカン戦争では、ブルガリアが他の諸国と戦った。これらの民族対立は、列強の利害と結びついて帝国支配と国際関係を動揺させ、オーストリア帝国とセルビア民族主義との対立を背景とするサラエヴォ事件が起これと、連鎖していた対立関係が世界戦争に発展した。

《出典》Franz Palacký「Auswahl von Denkschriften, Aufsätzen und Briefen aus den letzten fünfzig Jahren, als Beitrag zur Zeitgeschichte.」(1848)

【20】2013 東京外国語大学

次の文章は、シンガポール共和国の初代首相を務めたリー・クアンユー(1923～)が 2000 年に出版した回顧録からの抜粋である。これを読んで、以下の問に答えなさい。

(著作権処理の都合により省略)

《出典》 リー・クアンユー著、小牧利寿訳 『リー・クアンユー回顧録(下)』 日本経済新聞社、2000 年

問 1 下線部①「ベトナム戦争」に関連して、北ベトナムへの大規模な爆撃(北爆)を開始した際のアメリカ合衆国の大統領の名を答えなさい。

問 2 下線部②「スカルノ」をはじめ、各国首脳が参加して、1955 年、第 1 回アジア＝アフリカ会議が開催され、平和十原則が採択された。この会議の開催地となったインドネシアの都市の名を答えなさい。

問 3 下線部③のシンガポールは、ASEAN が発足する約 2 年前の 1965 年 8 月にある国から分離・独立した。1963 年 9 月から 1965 年 8 月までシンガポールがひとつの州として加わっていた連邦国家の名を答えなさい。

問 4 下線部④「北ベトナム」に関連して、ベトナム民主共和国の独立宣言から、ベトナムが南北にわかれるまでの経緯を 100 字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。

インドシナ戦争 軍事境界線 フランス

問 5 空欄⑤は、インドネシアによる併合の後、スハルト政権崩壊後の 1999 年に住民投票で独立が決定され、国連による暫定的な統治を経て、2002 年に独立を達成した。その国の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥「1978 年から 1991 年まで、ASEAN の団結に影響を与えかねない問題だったのはベトナムのカンボジア侵攻である」に関連して、民主カンプチア(民主カンボジア)政権を支援し、1979 年 2 月にベトナムに対して軍事行動を起こした国の名を答えなさい。

問 7 空欄⑦に入る政治指導者の名を答えなさい。

問 1 ジョンソン

問 2 バンドン

問 3 マレーシア

問 4 (解答例) 1945 年に独立宣言したベトナム民主共和国は翌年から旧宗主国フランスとインドシナ戦争を戦った。1954 年のジュネーヴ休戦協定で停戦が実現し、ベトナムは暫定的軍事境界線の北緯 17 度線で南北にわけられた。

問 5 東ティモール

問 6 中国

問 7 ポル・ポト

《出典》リー・クアンユー「リー・クアンユー回顧録(下)」日本経済新聞社(2000)

【2 1】2012 東京外国語大学

次の資料は、エジプトのオラービー(ウラービー)革命を支援し、イギリス政府の政策に反対したイギリス人元外交官 W. S. ブラントが著わした『ハルツームのゴードン』(1911 年)からの抜粋〔A〕〔B〕、および同書に収められたブラントのゴードン宛書簡〔C〕である。ゴードンは、中国、エジプトなどで任務につき、スーダンで戦死したイギリスの軍人である。この文章を読んで、以下の問に答えなさい。

(著作権処理の都合により資料〔A〕～〔C〕省略)

《出典》 W. S. ブラント著、栗田禎子訳 『ハルツームのゴードン——同時代人の証言』 リプロポート、1983 年

問 1 下線部①にある北京攻略が起きた戦争の名を答えなさい。

問 2 空欄②に入る適切な語を答えなさい。

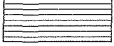
問 3 下線部③のようなイスラム改革運動を先導し、オラービー革命にも強い影響を与えたイラン出身の人物の名を答えなさい。

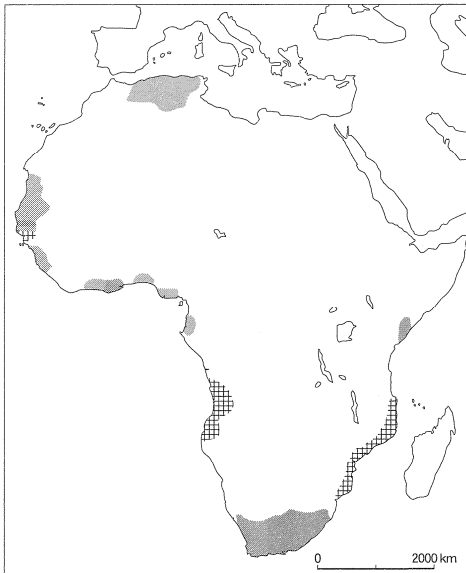
問 4 下線部④について、このときのイギリスの首相の名を答えなさい。

問 5 下線部⑤の時期にはオスマン帝国では憲法が停止されていた。この憲法を作成したオスマン帝国の政治家の名を答えなさい。

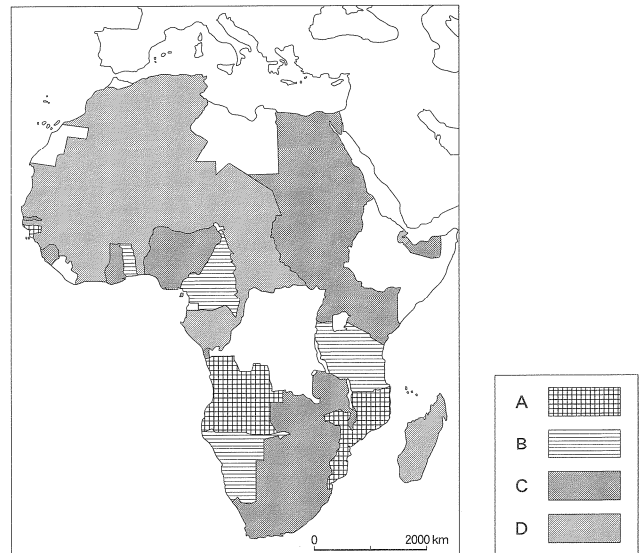
問 6 下線部⑥において、1835 年にオスマン帝国により再征服され、その後イタリアの支配を経て、1951 年に独立した国の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦において、18 世紀以来影響力をもってきたイスラム教スンナ(スンニー)派の一派の名を答えなさい。

問 8 下線部⑧でブランドが予測するように、まもなくイギリスはスーダンを制圧し、ヨーロッパ諸国によるアフリカ分割は加速していく。次の図(1)、(2)は 1870 年代なかばと第一次世界大戦開戦時のアフリカにおけるヨーロッパ 4 ヶ国の植民地支配の状況を示したものである。このうち、で示された地域を植民地として支配していた国(A)、で示された地域を植民地として支配していた国(B)の名を答えなさい。



(1) アフリカにおける植民地支配(1870 年代なかば)



(2) アフリカにおける植民地支配(第一次世界大戦開戦時)

問 9 ヨーロッパ諸国によるアフリカ分割の過程を、400 字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。なお、以下の語句のうちの「ベルリン会議」とは「ベルリン西アフリカ会議」とも呼ばれ、1884～85 年に開催されたものを指す。

アドゥワの戦い コンゴ自由国 ベルリン会議 南アフリカ戦争
ブール人 英仏協商

問 1 (次から 1 つ) アロー(戦争)、アロー号(戦争)、第二次アヘン(戦争)

問 2 (次から 1 つ) 太平天国(軍)、太平(軍)

問 3 アフガ(ー)ニ(ー)

問 4 グラッドストーン

問 5 ミドハト・[=]パシャ

問 6 リビア [リビヤ]

問 7 (次から 1 つ) ワッハーブ派、ワッハーブ教団、ワッハーブ

問 8 (A) ポルトガル

(B) ドイツ

問 9 アフリカではコンゴ問題をきっかけにヨーロッパ列強が対立し、ビスマルクの呼び掛けでベルリン会議が開催された。そこでは、アフリカを早い者勝ちで支配する先占権が認められ、コンゴでは、ベルギー王の私領としてコンゴ自由国が成立した。以後ヨーロッパ諸国による植民地獲得競争が加速した。フランスはアルジェリア、チュニジアを支配下におき、モロッコやスーダン方面へと拡大した。イギリスはエジプトを事実上の保護領とし、続いてスーダンも支配下においた。両国はファシヨダ

事件で対立するものの、1904 年英仏協商により双方の領域を認め合った。一方、南アフリカではブール人のオレンジ自由国などでダイヤモンドが発見されるとケープ植民地を支配していたイギリスは南アフリカ戦争を起こし、これに勝利、広大な植民地を手にした。こうした列強による分割に対し独立を保ったのはアドゥワの戦いでイタリアを破ったエチオピアとリベリアの 2 国のみであった。

《出典》W. S. ブラント「ハルツームのゴードン-同時代人の証言」リプロポート(1983)一部改変あり

【22】2012 東京外国語大学

次の史料は、アメリカ合衆国のウッドロー・ウィルソン大統領が、1918 年 1 月 8 日にアメリカ連邦議会で行った演説の一部である。この演説で明らかにされたアメリカの外交政策は「14 カ条の平和原則」と呼ばれている。この史料を読んで、以下の問に答えなさい。

(著作権処理の都合により省略)

《出典》『14 カ条の平和原則』歴史学研究会編「世界史史料 第 10 巻」, 岩波書店, 2006 年

問 1 下線部①で提唱された考え方のもと、植民地の住民の間では、民族自決への期待が高まったが、現実には、戦後、敗戦国ドイツの旧植民地とオスマン帝国領の一部は、戦勝国の間で分配された。その名目として国際連盟の下で創設された仕組みの名を答えなさい。

問 2 下線部②はロシア革命後のロシアへの干渉戦争のことを指している。この干渉戦争に参加した国のうち、もっとも遅い 1922 年まで軍隊を駐留させた国の名を答えなさい。

問 3 空欄③には二つの地域が入る。この二つの地域の名を答えなさい。

問 4 下線部④に関連して、第一次世界大戦後、イタリアがセルビア・クロアチア・スロヴェニア王国(ユーゴスラヴィア)と帰属を争った港湾都市の名を答えなさい。

問 5 下線部⑤にもかかわらず、オーストリア＝ハンガリー帝国は解体された。チェコスロヴァキアの独立運動を指導し、帝国解体後、この国の初代大統領になった人物の名を答えなさい。

問 6 空欄⑥に入る国の名を答えなさい。

問 7 アメリカ合衆国は、伝統的にヨーロッパの国際政治とは距離を置く姿勢を取り続けてきた。この観点から、第一次世界大戦中および戦後のアメリカ合衆国の外交を 100 字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、使用した箇所すべてに下線を引きなさい。

無制限潜水艦作戦

国際連盟

孤立主義

問 1 委任統治

問 2 日本

問 3 アルザス、ロレーヌ

問 4 フィウメ [リエカ, トリエステ]

問 5 マサリク

問 6 ポーランド

問 7 当初中立という立場を取っていたアメリカは、ドイツの無制限潜水艦作戦を国際法違反と非難して 1917 年 4 月に参戦した。しかし、戦後孤立主義の傾向が議会で強まる中で自らが提唱した国際連盟に参加しなかった。

《出典》歴史学研究会「(14 カ条の平和原則)」『世界史史料 10』岩波書店(2006)一部改変あり

【23】2011 東京外国語大学

次の史料は、7 年戦争の講和条約として締結されたパリ条約の一部である。史料を読んで、以下の問に答えなさい。

第 2 条 ①1648 年の条約、1661 年・1670 年のイギリス・スペイン両国王間のマドリッド条約、1678 年・1679 年のナイメーヘンの和約、1697 年のライスウィクの和約、②1713 年の条約、1714 年のバーデンの和約、1717 年のハーグ三国同盟条約、1718 年のロンドン四国同盟条約、1738 年のウィーンの和約、1748 年のエクス・ラ・シャペル(アーヘン)の和約、1750 年のイギリス・スペイン両国王間のマドリッド条約、1668 年 2 月 13 日、1715 年 2 月 6 日および 1761 年 2 月 12 日のスペイン・ポルトガル両国王間の条約、1713 年 4 月 11 日のイギリスの保証の下で締結されたフランス・ポルトガル間の条約は、平和および本条約の基礎である。そして、その目的のために、上記の諸条約は最良にして包括的な形ですべて有効であることが再確認される。(後略)

第 4 条 フランス国王は、これまで主張してきたノヴァスコシアないしアカディアについてのすべての権利を放棄し、そのすべてとそれに付属するものがイギリス国王に帰属することを保証する。さらに、フランス国王はイギリス国王に対して、カナダおよびそれに付属するもの、ケープブレトン島、セントローレンス湾およびセントローレンス川の他のすべての島々(中略)を、イギリス国王とその政府に譲渡し、それを保証する。(後略)

第 5 条 フランス臣民は、(中略)③ a 島沿岸の一部において漁業を行い、魚を干す自由を今後も享受する。(後略)

第 7 条 堅固にして永続的な平和を再建し、アメリカ大陸におけるイギリスとフランスの領土の境界に関するあらゆる紛争を永久に取り除くために、今後、この地におけるイギリス国王の領土とフランス国王の領土は、ミシシッピ川に沿って、その源からアイバーヴィル川まではミシシッピ川の中央線によって、その先から海まではアイヴァーヴィル川とモールパ湖とポンチャートレーン湖との中間に引かれた線によって確定され、改変できないものとするのが合意される。(中略)このために、フランス国王は、引き続きフランスに属するニューオーリンズの町およびその所在する島を除き、モービル川およびモービル港、ならびに彼がミシシッピ川の左岸地域において所有しているすべてについて、その全権利をイギリス国王に譲渡し、それを保証する。(後略)

第 8 条 イギリス国王は、フランスにグアドループ島、マリギャラント島、デジラード島、マルティニーク島、ベルイル島を返還する。また、これらの島々の砦は、イギリス軍によって占拠される以前の状態で返還される。(後略)

第 11 条 ④東インドにおいては、イギリスはフランスに対し、1749 年初めの時点でコロマンデルおよびオリッサの沿岸、マラバルの沿岸、またベンガルにおいてフランス国王が所有していた各地の商館を、現状のままで返還する。そして、フランス国王は、前述の 1749 年初め以降にコロマンデルおよびオリッサの沿岸において獲得したものに対するあらゆる請求権を放棄する。一方、フランス国王は、今般の戦争の間に東インドにおいてイギリスから獲得しようとしたものすべてを元に戻すこととし、特に、スマトラ島のナッタルおよびタパヌリを返還する。さらに、フランス国王は、ベンガルの大守の支配地のいかなる場所においても

砦を築いたり、部隊を駐屯させたりしないことを約束する。そして、コロマンデルおよびオリッサの沿岸における将来の平和を維持するため、イギリス・フランス両国は、マホメット・アリ・ハーンをカーナティックの正統な太守として、サラバト・ジャングをデカンの正統な総督として承認する。また、両国は、戦争の間に一方もしくは他方に加えられた破壊もしくは略奪をめぐって、相互もしくはそれぞれのインドの同盟者に対して行う余地のあるすべての要求および請求権を放棄する。

第 15 条 クレーフェ、ヴェーゼル、ヘルダーラントおよびプロイセン国王に帰属するすべての領土における要塞からのフランス軍の撤退に関して、また同様に、(中略)神聖ローマ帝国全域において獲得した占領地からのイギリス軍およびフランス軍の撤退とそれぞれの領土への帰還に関して、予備条約第 13 条の諸規定が本条約調印時に実行されていない場合、イギリス国王とフランス国王は、誠意をもって、可能なかぎり速やかに前述の撤退を完遂することを約束する。その期限は両国王が設定した、来る 3 月 15 日、もしくは可能ならばそれ以前とする。(後略)

第 19 条 イギリス国王は、⑤キューバ島において彼が占領した土地のすべて、およびハバナ砦をスペインに返還する。そして、この砦は、同島の他のすべての砦と同様、本条約によってスペインに返還される同島に定住していたイギリス国王の臣民、もしくは⑥同島において処理すべき商取引のあるイギリス国王の臣民が、その所有する土地や財産を売却したり、その商取引を清算したり、債権を回収したり、家財や家族を帰国専用の船舶にのせて送り返したりする自由が、宗教上の理由、もしくは債務と犯罪以外の他のいかなる理由によっても制限を受けずに認められるかぎりにおいて、イギリス国王の軍隊によって征服された時点と同じ状態で返還される。(後略)

第 20 条 前条に規定された返還の結果、スペイン国王は、セントアウグスティンおよびペンサコーラ湾を含むフロリダ、ならびにミシシッピ川の東ないし南東までの北アメリカ大陸においてスペインが所有しているすべてについて、その全権利をイギリス国王に譲渡し、それを保証する。(後略)

パリにおいて調印された。1763 年 2 月 10 日。

《出典》 歴史学研究会編 『世界史史料』第 6 巻、一部改変あり

問 1 18 世紀半ば、ヨーロッパの国際関係には「外交革命」とも呼ばれる大きな転換が生じた。本条約に登場するイギリス、オーストリア、スペイン、プロイセンの中で、7 年戦争におけるフランスの交戦国をすべて挙げなさい。

問 2 下線部①の条約によって、ヨーロッパにおいて主権国家体制が確立した。この条約の名を答えなさい(イ)。
また、この条約によって終結した戦争の名を答えなさい(ロ)。

問 3 下線部②の条約は、スペイン継承戦争の結果、締結されたものである。この条約の名を答えなさい(イ)。
また、この条約によってスペインの王位継承が認められた王家の名を答えなさい(ロ)。

問 4 下線部③の空欄

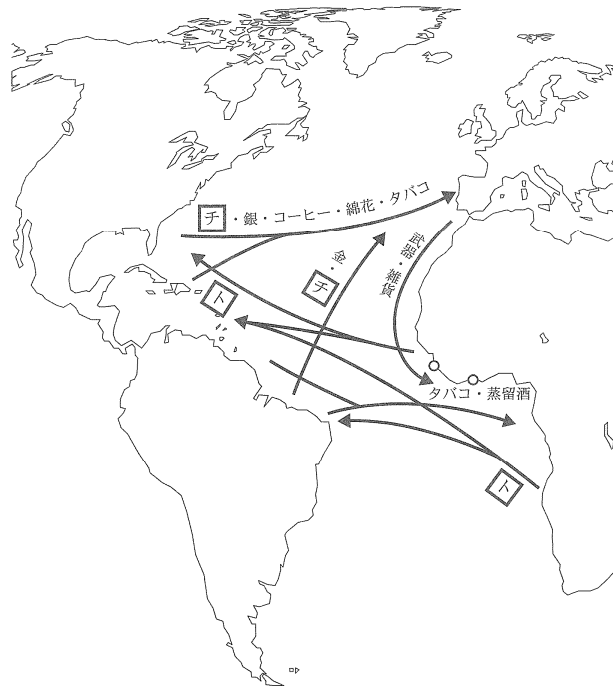
a

 の島近海は、当時から世界有数のタラの漁場として知られていた。この島の名を答えなさい。

問 5 下線部④に関連して、18 世紀のインドの最も重要な輸出品を答えなさい(ホ)。また、インド東海岸の南部におけるフランスの根拠地の名を答えなさい(ハ)。

問 6 下線部⑤に関連して、後にキューバの独立をめぐって起こされた戦争の名を答えなさい。

問 7 下線部⑥に関連して、17 世紀半ばから 18 世紀にかけて、従来のスペインやポルトガルに加え、イギリスやフランスなどのヨーロッパ主要国が大西洋貿易に本格的に進出した。下図は、18 世紀の大西洋貿易の流れを図式的に表わしたものである。空欄 ト と チ に入るもっとも適当な語句を答えなさい。



問 8 7 年戦争の背景と、この戦争が非ヨーロッパ世界にもたらした影響について、400 字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。

重商主義政策

「代表なくして課税なし」

ブラッシーの戦い

フレンチ・インディアン戦争

マイソール王国

問 1 イギリス、プロイセン

問 2 (イ) ウェストファリア条約

(ロ) 三十年戦争

問 3 (ハ) ユトレヒト条約

(ニ) ブルボン家

問 4 ニューファンドランド(島)

問 5 (ホ) 綿(布) [木綿, 綿織物]

(ハ) ポンディシェリ

問 6 アメリカ・スペイン[米西, 十年, キューバ独立]戦争

問 7 ト (黒人, アフリカ人)奴隷 [黒人]

チ 砂糖

問 8 ヨーロッパにおける絶対主義国家間の覇権争いは、国内の商工業を保護育成し、貿易によって国富を増やそうとする重商主義政策を背景として、とくに英仏間の非ヨーロッパ世界における植民地争奪戦争につながった。7 年戦争では、イギリスは北アメリカでフレンチ・インディアン戦争に勝利し

てフランスから広大な領土を獲得した。しかし、戦費や広大な領土の維持費用をまかなうため、アメリカ植民地への課税を強化しようとしたところ、植民地の人々は「代表なくして課税なし」となえて抵抗し、やがて独立戦争へとつながった。一方、インドではかねてよりイギリス東インド会社が支配領域を拡大していたが、1757年、フランスと地方豪族の連合軍をプラッシーの戦いで打ち破り、ベンガル地方を支配下に収めた。こうしてフランスを駆逐したイギリスは、マイソール戦争によって南インドのマイソール王国を滅ぼすなど、地方勢力を抑えてインド全土の支配に向かった。

《出典》歴史学研究会編 『世界史史料』第6巻、一部改変あり

【25】2010 東京外国語大学

1920年9月1日から9月8日にかけて、カスピ海に面した油田地帯の中心都市バクーにおいて、コミンテルン執行委員会の主催のもとに東洋(東方)諸民族大会が開催された。これは、イスラーム地域を中心とするアジア諸地域・諸民族の代表が一堂に会した国際会議としては世界史上初めての試みであった。参加した代表からは、民族・植民地問題をめぐって独自の問題提起が数多くなされた。しかし、ソヴィエト政権との政策的対立もあり、その後は開催されることなく、結局、これが最初にして最後の会議となった。

次の文は、その大会宣言の抜粋である。これを読んで問に答えなさい。

(編集の都合により省略)

《出典》村田陽一編訳 『コミンテルン資料集』 第1巻、大月書店、1978年

問1 下線部①に関連して、1857年、インドで最初の大規模な反英抵抗運動が起こされた。最後には鎮圧され、その結果、ムガル帝国は滅亡し、イギリス政府による直接統治が開始されることとなった。この出来事の名を答えなさい。

問2 下線部②に関連して、第一次世界大戦終結後、敗戦国オスマン朝政府と連合国との間で1920年に結ばれた条約、および、これを不満とするケマル・パシャ率いるトルコ大国民議会政府と連合国との間で1923年に締結された条約の名を答えなさい。

問3 下線部③に関連して、ガージャール(カージャール)王朝政府がイギリス人投機業者に供与した利権をめぐって、1891年には、外国の支配・干渉に反対するイランで最初の大規模な大衆運動が起こされた。その運動の名を答えなさい。

問4 下線部④に関連して、この地は、第一次世界大戦後、国際法上イギリスの委任統治領とされたが、1932年に王国として独立した。その国の名を答えなさい。

問5 下線部⑤に関連して、1947年に出された国連によるアラブ国家とユダヤ国家への分割案に対して、この地のユダヤ人は1948年にはイスラエルの建国を宣言し、これを承認しないアラブ諸国との間で戦争が勃発した。その結果、多くの難民(パレスチナ難民)を出すこととなった。この戦争の名を答えなさい。

問6 下線部⑥に関連して、エジプトに対する外国の支配・干渉に反対して、1881～82年に武装蜂起が起こされた。その指導者の名を答えなさい。

問 7 下線部⑦に関連して、1919 年に、朝鮮半島の人々が日本の支配からの独立を求めて起こした運動の名を答えなさい。

問 8 下線部⑧について、アルメニア(エレヴァン地方)は、ゲルジャール(カージャール)朝イランとロシアとの戦争(1826～28 年)の結果、ロシアに併合された。それを取り決めた条約の名を答えなさい。

問 9 下線部⑨はいずれも、19 世紀末までにロシア帝国の領土に編入された地域である。ロシア帝国を「諸民族の牢獄」と規定したレーニンが、民族自決を革命後の基本理念の一つとした。これにより旧ロシア帝国の領土は再編成され、アジアの民族解放運動にも影響を及ぼすが、国際情勢の変化の中でボリシェヴィキは路線を転換する。以上の経過を 400 字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。

平和に関する布告

無賠償・無併合・民族自決

ザカフカース

ソヴィエト社会主義共和国連邦

第 1 次国共合作

バルト 3 国併合

問 1 シパーヒーの乱

問 2 1920 年 セーヴル条約

1923 年 ローザンヌ条約

問 3 タバコ＝ボイコット運動

問 4 イラク

問 5 第 1 次中東戦争

問 6 ウラービー

問 7 三・一運動

問 8 トルコマンチャーイ条約

問 9 ロシア革命によって成立したソヴィエト政権は平和に関する布告を採択し、第一次世界大戦の交戦国に対して無賠償・無併合・民族自決の原則による講和を呼びかけるなど、新しい国際秩序の形成を提唱した。旧ロシア帝国の領土では、ポーランドやフィンランドが独立国家となる一方で、ロシア・ウクライナ・ベラルーシ・ザカフカースの 4 つのソヴィエト共和国の連合という形で 1922 年にソヴィエト社会主義共和国連邦が結成された。またボリシェヴィキは、対外的には世界革命の推進と民族解放運動の支援を行った。中国ではコミンテルンの指導により中国共産党が結成されたが、共産党と国民党との間で成立した第 1 次国共合作の成立が反帝国主義闘争の高揚をもたらした。ところが、ファシズム政権が侵略を開始して対独戦の脅威が強まると、ソ連は自国の防衛を最優先にするとともにポーランド分割やバルト 3 国併合を強行するなどによりその支配領域を拡大した。

【27】2007 東京外国語大学

次の文章は、フィデル・カストロとともにキューバ革命を主導したチェ・ゲバラが、1966 年 1 月にキューバの首都ハバナで創設された「三大陸人民連帯機構」へ送った「メッセージ」の一部である。三大陸人民連帯機構は、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの急進的な民族主義運動を結集したはじめての国際組織である。この文章を読んで、問に答えなさい。

(編集の都合により省略)

《出典》 『三大陸人民連帯機構へのメッセージ』 選集刊行会編「ゲバラ選集 4」青木書店、1969 年

*1961 年 4 月、アメリカ合衆国へ亡命したキューバ人の部隊が米中央情報局の援助を受けてキューバ中部

南岸に侵攻しようとしたが失敗した事件。ピッグズ湾事件。

問1 下線部①について、攻防が続き戦線が膠着したのは北緯何度付近であったか。(イ)その緯度を答えなさい。また、(ロ)朝鮮戦争に際して「治安維持」のため、連合軍総司令部(GHQ)の指示で1950年に日本で新たに設けられた組織の名称を答えなさい。

問2 下線部②に関連して、1973年9月11日、南アメリカのある国で民主的な選挙で選ばれた社会主義政権が軍事クーデタによって倒された。(ハ)そのクーデタが起きた国と、(ニ)倒された政権の大統領の名を答えなさい。

問3 下線部③に関連して、「この10月の危機」の後、米ソ両国の核軍縮交渉が急速に進んだ。(ホ)1963年に米ソを含む3カ国で締結された最初の核軍縮条約の名称と、(ヘ)米ソ以外の調印国の名を答えなさい。

問4 (④)にはある都市の名が入ります。(ト)その都市の名を答えなさい。また、(チ)1973年1月にヴェトナム和平協定が結ばれた都市の名を答えなさい。

問5 下線部⑤に関連して、ヴェトナム戦争が世界の政治、経済、社会それぞれの分野に与えた影響について、400字以内で説明しなさい。その際、次の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。

反戦運動

キング牧師

カウンター・カルチャー

多極化

ドル危機

問1 (イ) 38度線

(ロ) 警察予備隊

問2 (ハ) チリ

(ニ) アジェンデ

問3

(ホ) 部分的核実験停止条約【大気圏内外水中核実験停止条約、PTBT。なお、「停止」は「禁止」でも可】

(ヘ) イギリス【連合王国】

問4 (ト) ジュネーヴ【ジュネーブ】

(チ) パリ

問5 アメリカ合衆国のヴェトナムへの軍事介入と戦争の泥沼化に対し、日本を含む世界各地では反戦運動が盛り上がった。アメリカ合衆国では、多くの若者が徴兵拒否を訴えたり、公民権運動の指導者キング牧師が反戦を唱えたりした。また、アメリカ合衆国の苦戦と敗北は、欧米中心の価値観への批判をもたらし、先進諸国ではヒッピーやジーンズに象徴されるカウンター・カルチャーという新しい文化潮流が登場した。一方、莫大な戦費は、社会政策費の増大や西ヨーロッパ・日本の経済成長と相まって、アメリカ合衆国の財政と貿易収支の赤字を招き、基軸通貨であったドルの価値が下落した。これをドル危機と呼ぶ。その結果、1971年、ニクソン大統領はドルと金の兌換を停止し、戦後の世界経済を支えてきたブレトン・ウッズ体制は動揺した。国際経済に見られた多極化の動きは政治面でも進み、アメリカ合衆国は中国との国交正常化やソ連との戦略兵器制限交渉に乗り出した。

【28】2007 東京外国語大学

西ヨーロッパ・キリスト教世界は、「唯一にして普遍」と考えられた正統教義を守り抜いてきたが、16世紀の宗教改革を経て、複数の宗派の共存、競合する多元的な世界へと変質していく。この時代は、宗派对立・宗教戦争といった、宗教的他者に対する徹底した不寛容を特徴とする時代でありながら、その一方で、大航海時代という時代背景のもとで積み重ねられていく異文化との出会いの経験から、宗教的他者を受容する近代的寛容の精神を育んだ時代でもあった。

以下の2つの文章は、17世紀のフランス人ユグノーで、「宗教的寛容論の父」と呼ばれる思想家ピエール・ベール(1647-1706)によるものである。この文章を読んで、問に答えなさい。

(編集の都合により省略)

《出典》 野沢協訳 『寛容論集』 法政大学出版局, 1979年

問1 下線部①は、1598年にフランス王アンリ4世が発布した宗教寛容令を、ルイ14世が1685年に廃止した事実を指している。この寛容令は、カトリック、ユグノー(カルヴァン派)双方の信仰を容認することで、フランス国内の宗教内乱に終止符を打つ画期的なものであった。(イ)この寛容令の名称を答えなさい。また、(ロ)この寛容令の廃止がフランスおよび他のヨーロッパ諸国に及ぼした経済的影響について、100字以内で説明しなさい。その際、次の語句を必ず使用し、用いた箇所すべてに下線を引きなさい。

ユグノー 商工業者 国内産業 産業の発展

問2 下線部②に関連して、とくに16～17世紀の西ヨーロッパにおいて、「悪魔に魂を売った者」と疑われた人物(おもに女性)が宗教裁判にかけられ、火あぶりなどの極刑に処されるという事態が頻発した。この社会事象を何というか、答えなさい。

問3 下線部③に関連して、オスマン帝国は、フランスをはじめとする西ヨーロッパ諸国に対し、領事裁判権や身体・財産の安全等を保障する一種の特権を恩恵として与えた。当初は通商関係の発展を期したものであったが、18世紀以降になると西欧諸国に有利な不平等条約として利用され、侵略の足がかりとされた。この特権の名称を答えなさい。

問4 下線部④に関連して、ヨーロッパのキリスト教世界とインド・アジアとの異文化接触は、大航海時代以後のヨーロッパの海外進出とアジア貿易の展開のなかで生じたが、イギリス、オランダなどがインド・アジア貿易のために設立した通商組織を何というか。その名称を答えなさい。

問5 下線部⑤に関連して、宗教改革後のプロテスタントの台頭をうけて、カトリック教会は勢力の建て直しを図るが、この対抗宗教改革の一翼を担い、日本を含む世界各地へ宣教活動を繰り広げた宗教組織(1534年に結成)は何というか。(ハ)その組織の名称と、(ニ)創設者の名を答えなさい。

問1

(イ) ナントの勅令【ナントの王令】

(ロ) ナントの勅令が廃止された結果、フランスではユグノーの商工業者が国外へ大量に亡命し、そのため国内産業の発展が阻害された。一方、ヨーロッパに拡散したユグノーは、プロイセン等の各国で産業の発展に寄与した。

問2 魔女狩り

問3 カピチュレーション

問4 東インド会社

問5

(ハ) イエズス会 [ジェズイット教団]

(ニ) イグナティウス・ロヨラ [フランシスコ・ザビエル]

【29】2006 東京外国語大学

次の文章は、中国清末の革命家・アナーキストの劉師培(1884－1919)が、亡命先の東京で発行していた雑誌『天義』(1907年11月)に発表した論文「亜洲現勢論」の冒頭部分です。当時は、アジア各地の革命家・独立運動家が日本に亡命して東京に滞在しており、たがいに親交を深め、日本の社会主義者たちと交流を深めていました。この論文は、その動きのなかで書かれたものです。この文章を読んで、問に答えなさい。

現在の世界は強権の横行する世界であり、アジアは白人の強権が加えられている地域である。したがって白人の強権を排除しようと欲するならば、どうしても白人がアジアに加えている強権を排除しなければならない。試みに白人がアジアに加えている強権について略述すれば、次のごとくである。

1. イギリスのインドに対する強権

イギリスはインド人に対して、自由に法律を学ぶことを禁じ、高級官吏はすべてイギリス人をあて、下級官吏には時にインド人を任命して、彼らの指揮下に駆使している。①集会、結社にも制限を設け、志士たちが新聞にイギリスの施政を非難した文章を書く、ただちに逮捕投獄する。古代インドの偉大の事跡についても、インド人に教えることを禁じ、懐旧の念を起さぬようにしている(たとえばインド古代のプリトヴィラージュという英傑は、蒙古人を駆逐してインドの伝統を復活した人であるが、最近、イギリス人が建てた諸学校では、インド史を教えるときに彼の事跡を抹消したうえ、謀反人であると称している。これはロシアがポーランド文字を廃止したのとほとんど変らない。以上は私が直接インド人の某君から聞いたことである)。

ボーア戦争にさいして、イギリスは自治の権利を餌にしてインド人をイギリスのために戦わせた。ところがボーアが敗北したあと、インドに自治権を与えることをしぶり、インド人のなかに憤激が高まってくると、兵力を動員してその反乱を抑えた。以上が最近インドが受けている苦しみである。

2. フランスのヴェトナムに対する強権

ヴェトナムが受けている虐政については、②ヴェトナム人某君の『ヴェトナム亡国史』に詳しく述べられているが、彼はさらに私にこう語ってくれた。

「あの本には、フランスの虐政について、ほんの概略をかいつまんで書いたにすぎない。現在では、フランスの苛政は日ましにその度を加え、ヴェトナム人の苦しみもまた日を追ってはなはだしくなっている。全国いたるところで人民の血が沃野を染め、その数ははかりしれぬほどである。フランス人はヴェトナム人を徴募して兵士にしているが、兵器や弾薬はあまり支給せず、屯営でも現地人とフランス人の営舎を分離している。ヴェトナム人の商工業は荒廃するにまかせ、ヴェトナムの生きる道を絶っている。さらに昔の科挙の害毒を利用して人民を愚民化し、たとえば学校でもすべてフランス人に服従することを中心に教育している。新聞社も設立されてはいるが、いずれもフランス人の監督下にあり、フランスに媚びへつらうことにたけた者を編集責任者に据えている。集会、出版は、いっさいフランス人の命令に従わねばならない。施行されている刑法はとりわけ残酷なもので、無実の罪で死ぬ者は数えきれない」と。さらに彼は「強権の下にあつて、わが国人民は、みなまさに惨死に瀕している」ともいっている。この彼の言葉からすれば、その人民の悲哀と苦痛はいかばかりであろうか。以上が最近ヴェトナムが受けている苦しみである。

3. 日本の朝鮮に対する強権

日本は朝鮮に対して、その国王を退位させ、軍隊を解散し、すべての官府に日本人官吏を加えて、自国の権益を拡張した。義軍に対する残虐な殺戮のニュースは毎日のように伝えられているし、また暴徒であるとして自強会を嚴重に禁圧している。全国いたるところに日本人警官が配置され、とくに結社を禁じ、信書の自由まで侵している。しかも東京に留学している朝鮮人学生に対する酷薄な処遇、嚴重な取締りは、まるで囚人と変わらない。朝鮮人某君の言によれば、朝鮮は有史以来、モンゴル族の虐待を経験したとはいえ、③現在の日本ほどひどいものはかつてなかったというが、まさにそのとおりである。以上が最近朝鮮が受けている苦しみである。

4. アメリカのフィリピンに対する強権

アメリカはフィリピンを支配するにあたって、議員を選挙する権利を与えて自治の名目だけは整えているが、フィリピン人自身の言によれば、④いっさいの統治権はすべてアメリカ人総督の手に握られている。またフィリピン人の生計は、アメリカ人よりはるかに下回っているにもかかわらず、税金はアメリカ人と同じである。他国に移住したフィリピン人が結社を設けたり出版したりすると、それにもアメリカの厳しい監視が加えられる。以上が最近フィリピンの受けている苦しみである。

これらのほか、ビルマはイギリスに滅ぼされ、シャム〔タイ〕はフランスに領土を削られた。ペルシアは英、露両国にねらわれ、イギリスはその南部を、ロシアはその北部を侵し、鉄道、銀行の支配権はすべて両国に握られている。中国もまた列国の競争の場となっている。ロシアは北満州を占拠し、イギリスはチベットを侵し、ドイツは山東を、フランスは雲南、広東をねらっている。最近では、鉄道、鉱山、航運の半ばが白人のものとなった。日本もまたこの機会を利用して南満州を占拠し、福建をねらって勢力範囲を拡張しようとしている。中国瓜分〔分割〕の禍いはまさに目前に迫っており、このままゆけば北アジアはすべてロシアのもの、西南の諸港は半ばイギリスのものとなるであろう。このように、現在のアジアの全地域が白人の強権を受けていることは、何の疑いもないところである。

しかしながら最近のアジアの情勢を見ると、弱小民族がいずれも憐むべき衰亡に沈んでいるなかにあつて、ただ日本政府だけはアジア共通の敵となっている。現在白人諸国はアジア植民地の反乱を恐れる一方、日本がそれを併呑することを恐れている。そこで日本の軍事力を利用して、自国のアジア植民地を制圧しようと謀った。たとえば日英同盟はイギリスが日本と連合してインドの死命を制するためのものであり、日仏協約はフランスが日本と連合してヴェトナムの死命を制するためのものである。また、日仏、日露の両協約は、フランス、ロシアが日本と連合して中国を瓜分しようとする前触れであり、それはちょうど英露協約がペルシア瓜分の伏線だったのと同じである。⑤けだし列強は日本の手を借りてアジアにおける勢力を強固にしようと謀り、日本も列強と連合して対インド、対コーチシナ貿易を拡張し、それによって朝鮮、南満州における実権を維持強化しようと謀っているのである。さらに最近ではアメリカと対立して、フィリピンを併呑しようと望んでいる(たとえば、昨年アメリカがフィリピンを日本に譲渡するという噂があつたが、最近アメリカはフィリピンにおける陸軍の増強を計画している)。このように、日本はアジアにおいてひとり朝鮮の敵であるばかりでなく、インド、ヴェトナム、中国、フィリピンの共通の敵となっているのである。朝鮮が〔ハーグの万国平和会議に〕密使を派遣するや、各国の新聞はこれを激しく非難した。また日本の大隈〔重信〕伯爵はインド人に向かって、イギリス人に服従してまじめに働けと演説した。強権を逞しうして公理を隠滅すること、これより甚しきはない。

したがって、アジアの平和を守り、アジアの弱小民族の独立を図るならば、白人の強権を排除すべきはもち

ろん、日本が強権によってわがアジア人を虐げることをも同時に排除しなければならない。けだし帝国主義こそが現代世界の害虫だからである。

(西順蔵編『原典中国近代思想史』第3冊、岩波書店、1977年、より。)

問1 下線部①について、(イ)1885年に創設され、インド民族運動の中核を担った政治団体は何か。その名称を答えなさい。(ロ)また、南アフリカにおけるインド人の権利擁護で活躍し、インドに帰ってその政治団体の指導者になった人物は誰か。その名前を答えなさい。

問2 下線部②について、(ハ)『ヴェトナム亡国史』の著者である「某君」とは誰のことか。その名前を答えなさい。(ニ)また、その人物が中心となって日露戦争後の日本に留学生を送った運動を何と呼ぶか。その名称を答えなさい。

問3 下線部③について、(ホ)当時の日本が朝鮮支配を強化し外交を監督するために設置した機関は何か。その名称を答えなさい。(ヘ)また、その初代の長となり、後に朝鮮人青年に暗殺された人物は誰か。その名前を答えなさい。

問4 下線部④について、(ト)アメリカ合衆国がフィリピンの領有権を獲得した戦争は何か。その名称を答えなさい。(チ)また、その戦争に際してはアメリカ側に協力しながら、戦後はアメリカの植民地支配に抵抗した人物は誰か。その名前を答えなさい。

問5 下線部⑤に関連して、日英同盟の締結から破棄にいたるまでの過程を、国際秩序の変化をふまえながら400字以内で説明しなさい。その際、以下の語句を必ず用い、用いた箇所に下線を引きなさい。

ロシア	アメリカ合衆国
第一次世界大戦	ワシントン会議
二十一カ条要求	

問1 (イ) (インド)国民会議(派) (ロ) ガンディー [ガンジー]

問2 (ハ) ファン・ボイ・チャウ (ニ) 東道[トンズー]運動

問3 (ホ) (韓国)統監府 (ヘ) 伊藤博文

問4 (ト) 米西戦争 (チ) アギナルド

問5 条約改正によって列強の一員としての地位を認められた日本は、1902年日英同盟を締結し、ロシアと対抗しながら東アジアの植民地化に参加した。日露戦争の結果日本は南満州の権益を獲得し、その後ロシアと協力しながら勢力を確保した。第一次大戦に際して日本は中国に21ヶ条要求を突きつけ、山東省のドイツ権益継承、鉱山開発権の取得など露骨な勢力拡大を図り、中国の抗議にもかかわらずヴェルサイユ条約で各国からの承認を得た。アメリカ合衆国は列強の中国植民地化に対して門戸開放政策を掲げて市場の機会均等を求め、大戦中もウィルソン大統領が14ヶ条で民族自決、秘密外交の廃止、紛争の国際的解決などを主張した。こうした大戦後の国際秩序観をふまえ、東アジアの国際関係を再編するために合衆国はワシントン会議を主催し、中国の主権尊重と海軍軍縮を取り決めた。その結果、日本は山東省の権益を中国に返還し、日英同盟が廃棄されるに至った。